無産階級戰鬪雜誌

反動主義を倒せ

定價十錢

第六年 ◆ 一月 ◆ 第一號

昭和三年一月一日發行
昭和二年十二月二十八日印刷納本

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

本部移轉

東京市麹町區内幸町一丁目五番地　電話銀座(57)二〇七七番

誌代一ヶ年分拂込者にマルクス大寫眞を無代贈呈

本號一覽

大同團結の年を迎ふ……………（卷頭言）
水平社の直訴事件と正式請願運動……………布施辰治
同人時評
◇七裂八花の對支政策と行衛不明の滿蒙交渉
◇野田醤油の爭議と勞働組合統一問題
◇新聞記事のなかに現はれた世相
◇朝鮮總督問題
◇檢閲制度に抗爭せよ
眞の吾黨を結成せよ……………吉田源藏
無產政黨大會傍聽記
◆日本勞農黨大會……………覆面の密使
◆社會民衆黨大會……………同
◆勞働農民黨大會……………同
◆日本農民黨大會……………日堂剛義
プロレタリア藝術團體の分裂と對立……………金熙明
全土戰報
岐阜瓦工聯合組合生る……………水野貝三郎
戰線雜報……………中島安太郎
千葉縣農民組合總會……………鈴木喜代志
坊つちやんを嗤ふ……………佐根生
反動團體に對する方策如何……………六十餘名家
各無產黨よ團結せよ……………田中政義
國際勞働運動……………淺野研眞
創作　狂女と看護婦……………吉田金重

社告

政府や資本家の爲す事、する事、すべて貧乏人を苦しめてゐます、百姓は土地がなくなり、勞働者は働く工場がなくなり、百姓が政府の役人に土地を譲つてやると云はれて喜んでゐると、思ひの外それは恐ろしい借金で首が廻らぬ様になり、米が出來ても出來なくても、小作料に相當する金を否でも應でも取たてられます。低腦政策といふ奴はそれです。少しでも政府や金持の惡口を云へば、不當にも檢束され拘留され、もつとひどいのになると、丁度今朝鮮である様な罪を××して、知らぬ事でも口を割つてゞも云はして見せるといふ××事件にさへなります。

資本主義はもう私達プロレタリヤ、農民にとつて×××い社會です。である限り、私達は全力を擧げてこれを突破しなければなりません。「進め」は終始一貫これらの迫害と低腦に打勝つて早や六年の年を迎へます。

私達は過去において爲せる誤りは忠實に認めなければなりません。又、それが無產階級の爲めにいゝ事であつたならばあくまで遂行しなければなりません。今年は無產階級が打つて一丸となつて强力な鬪爭を遂行すべき年です。されば、私達は、何等根據なき中傷、徒らに他を傷けんが爲めの言動は極度につゝしまなければなりません。私達の敵は同志ではなく、ブルヂョア及びその代辯者です。

全國の進め同志諸君。

今年もたゆまず努力されたい。本部としても地方へ演說會等の行動を試みようとしてゐる。「進め」はあらゆる人々に讀ませたいその任務を吾が親愛なる同志諸君が充分にやつてくれる事と確信してゐます。新らしき年の初めに諸君への御願ひと、吾等の發語をお傳へして、諸君の奮起を促すものだ。

布施辰治氏の主宰さるゝ「法律戰線」は「進め」の讀者が必ず讀むべき書であります。

支配階級に向つて、吾等は法律的に如何に應戰しなければならぬかをはつきり知る事が出來ます。惡家主に苦しんでゐる人、警察の不當暴壓に苦しんでゐる人、その他ありとあらゆる迫害を受けてゐる人は必ず讀むべきであると信じます。

マルクス寫眞集　一部五十錢

社會主義の父カアル、マルクスの肖像を初め、資本論を書いた家、亡命時代等興味津々たる寫眞集です。

哲學の貧困　一部三十錢

カアル、マルクスの名著として名高きもの、淺野研眞氏の譯であります。

農民諸君に與ふ　一部十錢

百姓は何故貧乏するか。

進めメダル　一個二十錢

勞農兵團結を示せるものである。「進め」の讀者は必らずこのメダルを胸間に飾れ。

會計係より

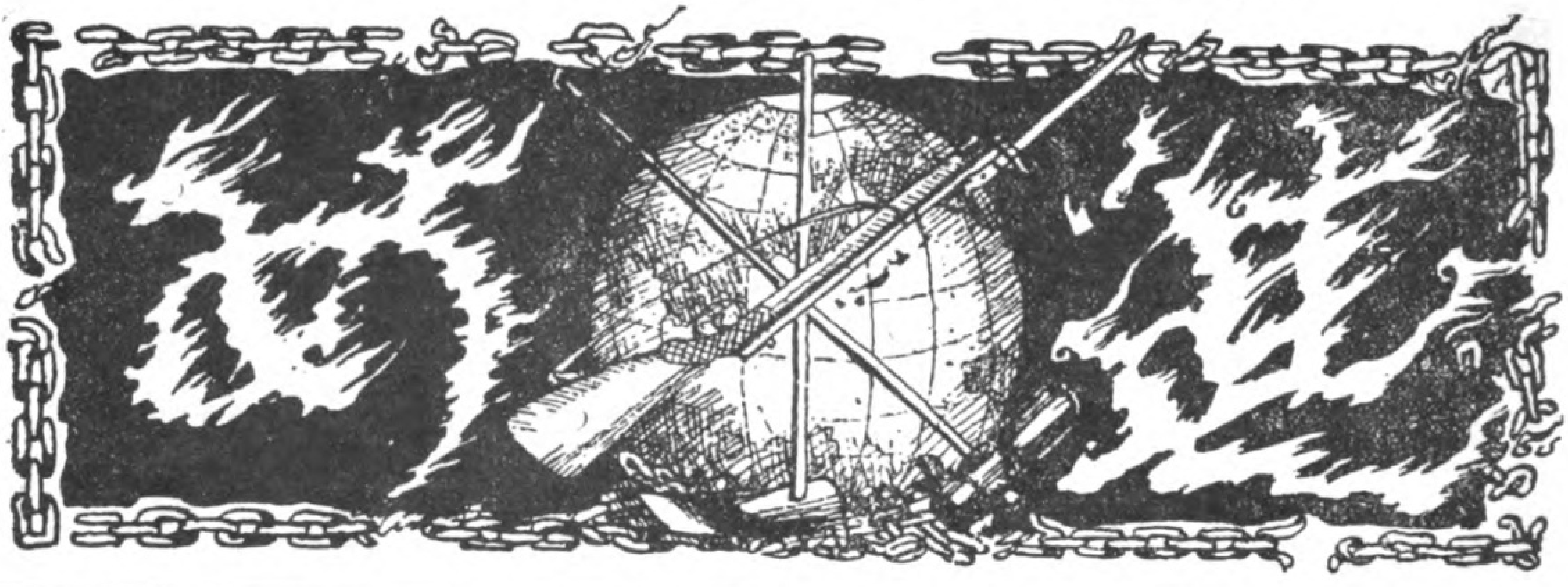
本誌の讀者たらんとする諸君は左の規定を必ず實行して下さい。

一、見本請求は十錢郵便切手を封入する事
二、用件は簡單明瞭に書く事時候見舞など必要なし
三、住所氏名を明瞭なるべく楷書で書く事
四、本社は集金郵便を用ひないから一切前金の事
五、誌代拂込みは振替にて送る事
六、住所移轉の通知には舊住所併記の事

〔進め社の振替口座は　東京六九八五三番〕

申込は整理の都合上本部會計係宛へ願ひます。

萬國の無産者團結せよ



第六年■戰鬪■進め■雜誌■第一號

大同團結の年を迎ふ

一九二七年は、支配階級の暴壓の中に終つた。今年も、この狀態が愈々惡化する望みはあつても、大衆の生活が樂になるといふ事は望まれない。無產階級の貧乏と壓迫とは、資本主義のある限り、厭でも應でもつきまとふ運命だ。されば、吾々は一九二八年の年の初めは、吾々の階級鬪爭が愈々深刻と、勇敢さを加へるべき一つの動機として、先づ全無產大衆と共に喜び迎へるものである。

去年は、吾々の戰線が一部分裂主義者の策動によつて亂れてゐたが、今年はこの害毒を一掃して大同團結の旗の下に支配階級を戰慄させねばならない年だ。支配階級の飽くなき彈壓とそれに力を得た反動主義者の横行を、力をもつて戰ひたふす年だ。昨年末の各無產政黨大會がこの合同問題を愼重に取扱つた事は、分裂してゐる時代ぢやないとの大衆の要望を反映したものとして、大に喜ぶべき事であつた。

吾々は今年も、もしそういふ分裂を喜ぶ樣なニセ無產者が出たならば、それをあくまで吾々の陣營に屈服させなければならない使命をもつ。

五十四議會が解散されても解散がなくても總選擧は近づいた。全無產階級はこの總選擧において、吾々の投票は吾々の代表に與へねばならぬ。目覺めた勞働者、農民諸君の絕へざる活躍を望むものである。しかし、いくら總選擧でも、彼の府縣會選擧で立證された樣な普選なら、もつての外だ。吾々は五十四議會へ普選の改正を他の無產階級の要求と共にもち込み、一方大衆と共にブルヂョア議會解散を要求する。

今年も不相變戰場である。戰ひに明け、戰ひに暮るゝ、これコンミュニストの運命である。しかし、この戰場は去年の樣に混亂したものであつてはならぬ。戰線統一の秩序正しき戰場でなければならぬ。

いざ、勞働者、農民諸君、今年こそは吾等の歷史的使命を完全に遂行するといふ固き熱意をもつて一路新らしき戰場に猛進しようではないか。（福田）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同人時評

七裂八花の對支政策と行衛不明の滿蒙交渉

一體霞ケ關の意氣地なし共は何時まで軍閥の古手やなんかに、此の重大な外交を任せて置く心算だらう。鉦や太皷で囃捲くつた積極政策なるものも、顧みれば隨分ひとを喰つたものである。世人は良い加減に彼等の積極的欺瞞政策から目覺めねばならぬ。武斷的反動田中内閣が出現して以來、只一途にアナクロニズムの武斷外交を以て對支政策の要諦と爲したる結果は、極めて不合理不徹底なる山東出兵を斷行せる爲め、其の撤兵に當つても亦等しく内外の非議を招き、帝國主義的侵略政策の誹りを受くるに至つた。之れが爲めに中部及び南部支那一帶に於ける猛烈なる排貨運動を受け、我が在留同胞の生存權と企業は非常に脅威を感じ、反動田中内閣の聲明せる對支出兵の理由とは全く正反對な結果を招來するの悲慘を見るに至つた。

軍閥内閣の一枚看板にして對支積極政策の根本たる滿蒙交渉は、其の骨子とする所從來の懸案なりし不當課税問題、帽兒山問題、打通線問題、盛京時報問題等に過ぎない。然も其の交渉は現在果して如何？ 行衛不明の狀態ではないか。打通線の開通、連山灣の築港、吉會鐵道問題等凡て皆近時支那側が却て積極的に出で、軍閥田中内閣の一枚看板たる積極政策なるものを奪つて之に抗するの氣勢を示すに至れるは、全く義一外交の不用意にして性急なる大言壯語が禍ひせる重大な失政と謂ふべきである。而して積極政策遂行の爲めと稱し、滿鐵を以て米國より外債を募集せんと企て、逆に支那側張作霖一派の官製排日運動宣傳の具に供せられ、遂に楊宇霆をして暴慢なる言動を敢てせしむるに至り、我が對支外交の權威を失墜したるは、其の一枚看板たる滿蒙積極政策に對する公然の挑戰と見るべく、此の重大なる結果に對して田中内閣は如何に其の罪惡を國民の前に謝せんとするか。

抑も日支兩國民が擧つて反對しつゝある所の滿蒙交渉なるものを、田中内閣は何故に敢て兩國の輿論を無視してまでも遂行しやうとするのであるか。反動田中内閣に於ける往時の段祺瑞内閣の成立が寺内内閣の如き關係を、現在の奉天派に期待し居つたとすれば、其れは時代の進展變化を解せさる反動内閣の惘れむべき迷妄である。同時に義一外交が空虛なる積極政策を振まはし、前内閣には出來ずとも奉天派相手なら軍閥田中内閣には、造作なく出來るものと高をくゝつたものとすれば、飛んだ色盲狂の錯覺であり寔に目出度いエピソードである。

併しながら、五里霧中行衛不明の滿蒙交渉が、楊宇霆と歐米記者團との會見で端なくも意外の波瀾を生じて、其の存在を世間に明かにしてことは多大な興味と皮肉錯綜せる近來絕好のニュースである。又此れに依つて吾等に時評の材料を與へられたことは衷心感謝すべきであらう。

閑話休題、楊宇霆と歐米記者團との會見談の重要なる點は、滿鐵とモルガン商會の間に交渉中の社債募集に強硬なる反對を表明せることゝ、吉會鐵道に關する舊契約を否定して單に借欵優先權を認むるに過ぎざることを公言せることゝ、無線電信問題に就ても日米兩國の無線契約を破棄して奉天の無電を以て足れりとせること等である。滿蒙交渉の當の責任者たる楊宇霆が、斯くも大膽なる言辭を極めて卒直に、然も勇敢に放言したことは、奉天派の眞意を洞察するの明なくして不用意に交渉を開始せる田中内閣にとつて、全く寢耳に水の驚きであつたらしい。爰に於てか滿蒙交渉が事前に山本滿鐵社長對張作霖間に諒解を得たものと宣傳せられしは、軍閥田中内閣の振出した不渡小切手、即ち眞赤な嘘であると云ふことが暴露さるゝに至つた。此の場合特に是れを裏書して證明する所のものは、楊宇霆の聲明中、米國に於ける滿鐵の社債募集に反對する一項が、事前に於て張作霖も同意承知の上でなされたと云ふことで、此の事は張本庄中將との會見に依つて明白に證據だてられたに見ても判る。

此れに由つて是を觀れば、彼等軍閥反動の徒が如何に國民を愚弄し社會を欺瞞してゐ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

るかが判明するであらう、然らば何故に彼等は斯くまでして満蒙交渉を決行せんとするのであらうか。又何故に奉天派は然く交渉を忌避するのであらうか。此の點吾人の深く疑問とせざるを得ない所である。と同様に何人も當然の順序として考へざるを得まい。そこで我等が自然に想ひ起すのは民國十四年郭松齢叛亂の際、張作霖が日本の援助を請ひ其の代償として三ヶ條の約束を承認せる一札を入れたと云ふことである。約束と云ふのは、

一、東三省に於ける日本人の内地雑居を許可す

二、東三省に於ける新鐵道の敷設を許可す

三、東三省に關係ある日本の條約期間を更に九十九ケ年間延長す

と云ふのである。若槻内閣時代は所謂慎重の考慮と云ふ消極政策を執つてゐたから好かつたが、硬派田中内閣となるや消極は積極に變る順序であり且つ其の積極政策とやらを鳴物入りで囃立てたが為め、張としては其の入れた一札の實行を迫らるゝ事を恐れ、そこで日本からの交渉と云へば一も二も無く峻拒するのである。是れと反對に日本としては取つた一札を盾に斯うでもない、あゝでもないと口說き立てる謂なのだ。實際の所、田中内閣の滿蒙交渉なるものが既得權擁護を程度とするものならば、縱令文字通りではなくとも實質的に之れを解決する方法は自ら別にある筈である。それを田中内閣は國家の面目を潰してまで執拗に迫り、一方張作霖はのらりくらりと拒みつゝある。此の態度に我等は一個の？を投げかけなければならぬ。而して此の疑問に對する鍵が發見されぬ限り滿蒙問題の解決は不可能であると考へる。尠くも軍閥田中反動内閣の存續する限り成功は覺束なしと判斷して憚らぬ。從つて成功する見込のない交渉に苦心努力するは、洵に愚な事だから此の際斷然と交渉を打切つたが好い。

次に廣東に於ける共産黨政府も僅々三日天下で崩壊したが、突如として起つた共産黨軍が廣東を占領し勞農政策を宣布して、赤色××を廣東全市に張らした事は近來特筆すべき事件である。例へその沒落が速かであつたとしても、支那に於ける共産黨の活躍は之れに依つて終熄せるものではなく、今後所謂激化的行動は益々甚だしくなり、××××は一層強くなるものと思はれる。葉挺、賀龍、張發奎等の如き多數の共産黨軍乃至準共産黨軍がある以上、何時また大勢力となり今回廣東占領の如き大事件を起さぬとも限らない。然もロシアは國民黨共産黨の分子に依つて決して支那を見捨てたものでなく寧ろ其後は虎の兒の共産黨に全力を集中し大連、上海、漢口、廣東等の領事館が各々連絡し、また領事館を其の地方に於ける策源の本部となし、物質的精神的に必死となつて援助を與へてゐる現状よりすれば、

×××××××××××××
×××××××××××××
×××××××××××××
×××××××××××××
×××××××××。

（二・一四・日堂生）

野田醤油の争議と勞働組合統一問題

「我等は産業平和の裡に、絶えざる進歩を希望することが、一貫せる我等の態度でなければならぬ。されば勞働條件の維持並びに改善は、なるべく罷業に訴ふることなくして、協議に依つて行はるゝ爲めに努力しなければならぬ。而して之が實現を期するには、團體協約權の確立を計ることが重要である。勞働組合を公認し、その發言を尊重することが一切の勞働問題の合理的解決の基礎的條件である、勞働條件は、資本家の獨斷に依り行はれずして、勞働組合を相手方として公正なる協定に依つて定められなければならぬ。これこそ、産業の平和的進歩の土臺となるところのものであつて、之れなくしての産業平和論は勞働者の奴隷的屈從によつてのみ得らるゝものであつて、眞の産業平和では斷じて無いと言はねばならぬ、我等の念ずる處は、屈從的平和ではない、進歩の行はるゝ平和である」と結論して、ひたすらに産業平和を念じてゐる、これは我が國の代表的穩健組合、日本勞働總同盟教育部長齋藤健一君の名文である。

客觀的社會情勢に全く盲目なる、而かもその態度を誇つて、頭を垂れて資本家に媚を賣らんとする言々句々である。而るに、總同盟は、統帥する關東醸造組合聯合會は、斷然として野田醤油株式會社に反抗し、今や、三ケ月を經過して益々曲折波瀾を極めつゝある。これを彼等に言はしむれば「四千万圓の大資本を有する野田醤油會社の體面も忘れ、一切手段の惡を選ばず滿身爭議團の嘲笑を浴びせられてゐる」ところの「奸策を弄する「横暴なる資本家」である。何と觀念的現實主義者の痴氣であらうぞ。

更に、本日の新聞紙は「兇器を持込んで殺氣立つ國粹會員……ピストルや日本刀を自働中で、野田の爭議惡化す」といふ大みだしで、爭議の經過を報じてゐる。かくて事實は、産業平和の希望をまんまと裏切つて益々紛擾を重ねてゐる。總同盟ダラ幹共の無念や思ふべしである。

斯くの如く、社會の順良なる傾向は、總同盟ダラ幹共の阻止しやうとする純觀念的な

る合理化を突破して、階級鬪爭の實踐をなだれの如く進行してゐる。この皮肉なる現象は、總同盟ダラ幹が見まいと欲して眼をつぶつても、社會の展開を決定づける實踐として遠慮なく進展するのである。

ヘンテコな産業平和論なんかを呼び物にする總同盟ダラ幹の態度と、社會の順當なる傾向とは、今後益々矛盾し發展するであらう。また實踐的勞働大衆は、客觀的社會情勢の中に己れの進路を發見して勇敢に突進するであらう。而して勞働組合の統一はこれ等實踐的勞働大衆の鋭き慾求の中に實現せらるべきものである。

一昨年末より昨年末にかけて、分裂に分裂を重ねて一先づ凝固したるが如くみゆる我が國の勞働運動の情勢は、更に波瀾を藏してゐる。それはこの對立の凝固は、實踐的勞働大衆の慾求の區劃的對立ではなくして、階級鬪爭の實踐を一歩飛越えて、その方法論的意見の相違からである。即ち階級鬪爭の方法の一部を形成する政黨的意見の相違からの分離對抗である。したがつて勞働運動の實踐的傾向は、客觀的社會情勢の險惡と共に、益々勞働大衆の慾求を統一せずには止まない。もし政黨的意見の分離が、舊體の如く、政黨の對立を決定して置くならば、實踐的勞働大衆は斷乎として政黨との分離を宣言するであらう。

總同盟ダラ幹が、社會民衆黨の國民的意見に統括せんとする勤勞階級に、實踐的勞働者を束縛しやうとして右翼的陣營に押込め樣としても、產業平和を打ち破つて、敢然、野田醬油會社を仇敵として將に血をみんとしてゐるではないか、もし總同盟ダラ幹が、彼等の主觀的觀念的空理を以て、實踐的勞働大衆を束縛しやうとするならば、實踐的勞働大衆は社會民衆黨を放棄して、蹶然、階級鬪爭の統一的陣、野に投ず來るであらう。もし、總同盟が、眞實に勞働運動の實踐的組合として存在を希望するならば、階級鬪爭を無視し、分裂的政黨の意見を振かざす社會民衆黨と先づ袖を分ち必要がある。そして、あくまでもダラ幹ぶりを改めざる幹部連中を追出さなければならぬ。そこにこそ、初めて勞働總同盟が、實踐的勞働大衆の團體として勞働組合統一戰線の中に入れる資格が生ずるのである。實に統一戰線はそこからである。（一二、十四　佐藤護郎）

新聞記事のなかに現はれた世相

「老婆を殺して死體を燒く上田市に兇惡な强盜、現金百圓を强奪」「保釋中、僞造株で十萬圓の大詐欺」

この大みだしの活字は、十二月十一日附の夕刊の中の大讀物である。月並なこうした出來事は、暮から正月にかけて、世の中の金廻りが行詰れば行詰る程益々多くはげしくなつて行く社會の醜惡な現象である。私達は今迄、こうした事を、世の中の月並な現象として夕飯後のたのしみ話しとして交されて來たのであるが、今、私が一寸手にした一枚の夕刊の中の重大記事が、この樣な世の悲しい出來事であるに於て、今更ながら大きな驚きをなすのである。而も、最近の世の中の出來事の大半は、この夕刊記事の如く僅か百圓足らずの金に依つて人を殺したりしてゐる。これは、多くの人々が夕飯後のたのしみ話しに交されて來た、これまでの現象とは違つてゐる。

そして、こうした慘めな現象を作る社會の上にも、今まで とは違ふ現象が捲き起つて來た事を心づかずにはゐられない。

それから、今、また手にした一枚の夕刊には、次の樣なみだしを發見した。

「齒科醫の獨心中――逃げた女に恨の繰り言」

この痴情沙汰は前と同じ樣に近頃の世の中を騷がしてゐる出來事である。そして前の現象と、この後の現象とは、一見全く相違する出來事の樣であるけれ共、決してそうではない。それは明かに世の中の行詰りを最もよく代表した出來事である。

なぜか……新聞記事に現はれて來る心中話、痴情話は大抵中等位の家庭若しくは生活を營んでゐた人々の中に起されてゐる。これ等の人々は、主として、今の世の中では、文化を代表し、文化を追ふて來た人々である。即ちブルジヨア文化の中の人々であつた。而しこの頃の世の中の狀態は、むづかしく言へば中間階級は、やさしく言へばこれ等の中等位の生計者はだん／＼資本主義制度の中から追出されて來てゐる。隨つて世の中の文化も上等生活者、即ち資本家階級の中に收められつゝある。銀座の發展、ダンスホールの流行、その他、世の中の形勢によく眼を透して見ればすぐわかる。そして、この醜惡な文化が、資本主義の文化として歡迎されてゐる。モダンガールに、モダンボーイ等の流行は、それに追すがらうとする中等生活者の淡い空想の現はれである。隨つて、その現象はホンの一時的なもので、すぐに消えて去るべき性質のものである。最近、この資本主義的文化に蹶然起つて反對して、新らしい文化の運動が無產者階級に依つて起されて來た事は、さもあるべき事である。然るに、今までの甘い夢に追ひすがらうとする中等生活者は、無產階級的文化の中に飛び込むわけにも行かず、さりとて、世の情勢は、刻一刻と迫つて、身のがれ場所さへなくなつて來つゝある。こゝに中等生活者達

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の懊悩が横たはるのである。心中話、痴情話は結局この悶へ苦しみの結果である。

今、手にした新聞記事の中のこの二つの現象の中に於て、世の中はもはや行詰つてゐるといふことを、先づ直感せずにはゐられない。政府はそれを救助しやうとしていろ〳〵の政策を考へて、それを行つてはゐるではあらうが、世の中は、それと正反對に、益々醜い出來事が殖えてゐる。物質的に、精神的に、生計的に、文化的に……そしてこの現象は、益々醜惡な現象を捲き起して行くであらう。

無産階級の反抗は、これ等の醜惡な現象を生む社會の矛盾を、もつともよく證據だてる反映である。社會の矛盾が發展すればする程、無産階級の反抗運動がはげしくなるであらう。し、また、この醜惡な世の中の現象を一日も早く去らしめるには、無産階級運動の展開を、唯一のたのみとするより外に途はない。

（十二、十一、佐藤護郎）

朝鮮總督問題

「吾等はパンと自由を與へよ」とは全被壓迫階級の止みがたき慾求であるが就中殖民地の即ち朝鮮臺灣等の兄弟等程この慾求を熾烈に燃えたゝせてゐる者はあるまい。

救ひがたき破綻に瀕しつゝある我國資本主義は内地に於ける無産階級の搾取と侵略政策と殖民地大衆を飢餓窮乏のドン底に突き落す事によつて辛うじて存在してゐると云つても決して過言では無いと思ふ。小資商人、サラリマン、勞働者はこの歳末の寒風の中に飢と寒さにふるへてゐる。しかし乍ら、殖民地の大衆諸君は、内地の大衆より以上に支配階級の搾取と迫害に泣いてゐるのだ。

朝鮮の兄弟達が正しき叫びを爲した時、横暴なる支配階級はこの吾等の兄弟を遇するに不逞鮮人の暴徒であると××に等しき行動を爲しつゝあるかは、吾々の日常親しく見或ひは聞いてゐるところである。朝鮮の兄弟等が「パンと自由を與へよ」と叫びつゝある聲は今や朝鮮の地を震撼させつゝある狀態に對して支配階級は野蠻なる行爲をもつてふみにぢらんとしたのである。

本誌十二月號に布施辯護士、及び時評にも記された通り、現在のブルヂョア法律をもつてすら許すべからざる反動的行動が續々として暴露されつゝある吾々は全力を擧げてこの支配階級の魔手と鬪ひ朝鮮の兄弟等の血みどろな鬪爭を應援しなければならぬ。

かゝる時、田中反動内閣は朝鮮總督齋藤の後任として山梨を送る事に決定した。前總督齋藤の如何に朝鮮の大衆を苦しめたかは云はずともうなづけるところであるが、新たに總督の椅子に據わらんとする山梨半造も、より反動主義飽くなき搾取と迫害を加へる資本家階級の忠實な番犬である事も云ふをまたずして明かであらう。彼山梨の過去における行動を知る者は何人と云はず彼れの總督就任に反對した。ブルヂョア新聞すら、彼を反動軍人として朝鮮統治に不適任であると主張した。しかしながら、日本の帝國主義資本主義は殖民地政策を最も有效に遂行する爲めには亦滿蒙政策の橋渡しとしても彼の如き武斷主義者を朝鮮に送る事を主張したのである。

吾等は資本主義の下においては永久に解放されぬ事を自覺する無産階級である。吾等は吾等の解放は闘爭を通じてのみ遂行出來ると確信する。

朝鮮の大衆の地位亦然りである。勞働者も農民も坑夫もサラリマンも亦朝鮮の兄弟も行くべき道は同じである。しつかりと握手し、支配階級の政策と暴壓に突撃しなければならないのだ。

今や、朝鮮の兄弟の上に君臨せんとする軍人總督、反動主義者の骨頂山梨半造に反對しなければならぬ。

朝鮮大衆の民意を代表せざる總督を排撃しなければならない。殖民地の政治は殖民地大衆の自治によつて爲すべき事を要求しなければならない。朝鮮の兄弟に參政權を與へよ。

吾人は殖民地の兄弟の勇猛果敢なる闘爭を信じてうたがはぬ者である。（神庭）

檢閲制度に抗爭せよ

田中軍事内閣成立以來日本帝國主義は、愈々その極度の頂點に昇登し、あらゆる分野に於て其脅的に、露骨的に無産階級の自由を阻止しつゝあることは、本誌の屢々論評したるが如きであるが、特に、言論集會の自由は最近に至つて全くその範圍を狹まれて、大衆は、眼を取られ、耳を切られ、口をふさがられたの如き感がある。

最近に於て特に檢閲制度の如きは、最もその極端な例の一つで本誌は昨年中に、已に三回の發禁に遭ひ、解放、文戰、改造、マルクス主義、無産者新聞、新朝鮮、其他の雜誌新聞が悉く彈壓された他プロレタリア劇場が北海道に於て、不法彈壓に遭ひ、前衛座が大阪公演に於ては、上演劇中主役が檢束され十九日の拘留に處せられた數々の實例がある。

斯る狀態では、我が大衆は遂に生理的本能が有する見聞の自由まで制壓されることを想像するに難くない。しかるが故に我が大衆は、かゝる不合理な封建的檢閲制度を××すべく「檢閲制度改正」の運動を積極的に支持し今議會に提出される請願運動に參加せねばならぬ。

（K・K・M）

水平社の直訴事件と正式請願運動

布施辰治

一

從來、我國には、不思議にも、直訴問題と云ふものが幾度も起つて居ます。だが、田中正造翁の鑛毒問題直訴事件を除いた以外の悉くは、一も二もなく其の直訴者を狂人扱ひにして居ました。

從つて、其の直訴者が、どんなに眞劍な人で又、其の直訴事件が、どの位重大な問題であつても、それが正しい意味に於て、眞に正しい問題とせられたことは、未だ曾てありません。

然るに、此度の、濃尾平野に於ける○○○○○主義○○大演習の觀兵式場で突發した水平社北原泰作君の軍隊差別賤視階級撤廢に對する直訴問題は、從來の直訴問題と異り不幸中の幸ひにも、請願令違反の問題として、正式に取扱はれて居ります、と同時に、其の直訴事件たる水平運動が新らしく論議せられて居ります。それは、北原君今回の直訴事件が、今日の專制的支配階級にとつて、最も痛い一點を突いて居るからである事は勿論だと思ひます。が、ヨリ有力な事情は、全民衆の眼と口とが、此の直訴事件を闇から闇へ葬り去らむとする支配階級の××を斷じて許さないからだと思ふ。

二

水平運動は、我國に於けるあらゆる被壓迫民衆の反抗運動中、最も深刻にして、且つ最も熱情に燃えた運動の一つであります、夫れは、何人と雖も、自分等と同じ專制政治に虐げられて居る同胞の、ヨリ一層惨めな差別賤視の撤廢を叫ぶ、水平運動に肯從しなければ爲らない結果として、殆んど燎原の火の如く全國的な三百万同人の結成を見たからだと思ひます。

が、しかし乍ら、如何に不合理であつても、因襲の久しき差別賤視の悪風を一掃する水平運動事實上の困難は、たやすく之を解決する譯には行かなかつたのです。それは、謂はれなき賤視差別を不合理也とする點に於て水平運動を迎へない者はなくとも、其の多くは、所謂運動として之を迎へるのであつて、未だ眞の無差別生活として之を迎へるまでには立ち至つて居らなかつたからであります。又、水平運動が、水平社同人の間に非常な勢ひで展開せられたと云ふのも、矢張り、之を一種の運動として展開した水平社運動の合理に共鳴した丈けのもので、未だ、賤視差別の不合理と徹底的に闘ふことを、水平社三百万の同人が生活化するまでに進んで居らなかつたからなのです。だから、今日迄の水平運動は、所謂運動者の運動で、同人三百万全體の運動として十分展開せられて居たと云ふ譯には參りませんだから、當初あれ丈け熱情の焔に燃へた水平運動が、最近甚だしく下火とならざるを得なかつたのです、けだし、その根本原因は、指導的同人の間に其の運動を生活化せしむべき明確なる戰闘的主義主張の確立統一が欠けて居たことにあつたのでせうが、一般民衆としても、水平運動が盛んに展開せられて居ればこそ、これに共鳴もし、又、支持もしたものの、水平社同人の運動そのものが下火になれば、下火になつた丈け、これから離れ、又、これを忘れて行くやうになるのは、自然の道行であつた事を、何人と云へども否み得ないのです。

その一つの反映と見てもいゝものは、現に、内務省に於ける所謂水平問題解決策の融和事情費が、水平運動の盛な時には、かなり多く計上されて居たにも拘らず、今年度は從來の半額に激減せられたと云ふ事でも判りませう――勿論、これは、水平運動の最も直接的な標語として掲げた、「徹底的糺彈」に對して「暴力行爲取締法」等の××法規を拵へ上げた支配階級として――・又、資本主義沒落期の根本的財政破綻に直面しつゝも、○○○義的○事費と民○彈○○の專制的○○費との我武者らな增額を企んで居る支配階級當然のことだとも言ひ得ませう。

三

が、しかし乍ら、そんなことはどうでもいゝとして、北原君があの直訴問題を惹き起したために、水平運動に對する一般の注意を振起した事は、大いに注目すべき事だと思ひます。水平社同人に最も強い刺激を與へた事はヨリ喜ばしいことです。

それは、廣島に開かれた十二月四日の本年度水平社大會が、今まで分裂抗争して居た主義主張を統一し、個人的感情の行き違ひ等を一掃して「差別の撤廢の旗の下に」と云ふ標語を掲げて、その第一歩を踏み出そうとして居る時だけに、なほのこと、一般民衆に對してよりも、ヨリ一層水平社同人に大きい刺戟であつた事は疑はないからです。其處で、

私は、此の一小論稿を進むるに就て、特に、一般の留意を求めて置きたい事は、北原君の直訴が××××××××云ふ事であります。

従來の××××に於けるが如く、如何に支配階級が逆宣傳を飛ばして民衆を欺かうとしても、欺き得ないほど、それは明々白々たる事實です。心身共に強健な者として軍隊に徴集せられて居る北原君を狂人扱ひにする事は、全く不可能のことでありますが、北原君の經歴に就て、新聞紙の報道するところに依れば、幼にして神童の譽あり、小學校は終始首席で卒業し、頭腦の明晰なことは擔任教師を驚歎せしむる程であつたと云ふことであります。更に弱冠廿三才の青年にして、岐阜縣の水平社執行委員長であつたと云ふ事も、亦、北原君を狂人扱ひにする事の出來ない、嚴然たる事實です、のみならず××××××××、最近の所謂婦人参政權要求直訴などの如き（九州から出て來た）發作的な問題ではなく、×××にも示されてゐる通り、常に陛下の軍隊を誇稱する靜岡第二十四聯隊内に於ける軍隊差別階級賤視を徹底的に糾彈した水平社大會の決議を取扱つた點に於て、所謂××××として甚だ相應はしき事項だつたのです。

法廷に於て、法務官が「かやうな事をし出かした事に對して、父母はどう思つてると考へるか」と云ふ問を發した時、北原君は「もとより父母は心痛してゐると思ひますけれども、その父母も三百万同胞と共に虐げられて居る差別問題に對する私の行爲を喜んで居ると思ひますから、子としての私のために父母の心痛して居る事位は問題でありません。」と叫んで法務官に押し止められたと云ふほど、との問に就て徹底的な考慮をつくして居た北原君の××は、もとより發作的な狂行沙汰でない事を、何人と云へども肯定するでせう。

さらに、その直訴方法に就ても、亦、軍隊に於ける最敬禮の態度を執つた點から見て、之を狂人沙汰なりとして葬り去る事は、斷じて出來ません。ただ一つ强ひて問題にし得る事は、たとへ軍隊式最敬禮を以て請願したにもせよ、請願令第十六條の「行幸の際沿道又は行幸地に於て直願を爲さんとしたるものは一年以下の懲役に處す」に該當する請願令違反だと云ふ一點丈けであります。

四

かくして、狂人ならざる水平社同人北原君が、公然論議せられなければならない重大な社會的事實を取扱つた直訴問題は、いかにしても北原君の狂行沙汰とすることの出來ない軍務當局は、賣名のためだと云ふことにしやうとして居るのです。

近來、所謂賣名云々を以て常人の爲し能はざる事を敢て爲した者の心情を誤解したり、若しくは誹り去つたりする事が多々あります。殊に、今日の專制的支配階級は、左様した非常行爲者賣名賤蔑の意識的遂行者であります。なるほど、ブルジョア意識を以て解放運動に参加して居るものの中には、時々、賣名宣傳の爲めに奇嬌な事を爲す者がないとも限りません。

だが、眞に×××××××程のことであるならば、その爲に、假りに、宣傳賣名的の結果を生ずるにもせよ、それは、決して賣名のための賣名だと賤蔑し去る譯には参りません、又、よし、賣名の爲の賣名をするものがあつたにもせよ、なほ且つ、そこには、賣名せらるべき何等かの共鳴を呼ぶものが存在するからこそ、賣名宣傳の問題も起るのではないか？、と云ふ事を考慮すべき餘地があると思ひます。

況んや、眞に生命を賭けた北原君の直訴問題は、どうして賣名であり得ませう。若し水平社同人に對する差別賤視――特に、軍隊内の差別待遇と云ふ事實がないにもかゝはらず北原君が××××××××××××××××××、或は、それを賣名的行爲と呼びえたかもしれません。

だが、現に、水平社同人に對する不合理極まる一般的の差別賤視があり、特に軍隊内には、はげしい差別がある、と云ふ事が公然たる事實として存在する以上、北原君の××をどうして賣名行爲と言ひ得ませう、よし、それが賣名的結果を生んだとしても、それは北原君の與り知らぬ事です。現實に不合理極まる差別賤視があればこそ、同君の×××××、同君が賣名すまいとしても、之を報道宣傳する賣名の結果を生ぜしめたものである事を認めない譯にはゆかないでせう。

然らば、仍ち、同君の直訴を「賣名のためにやつたのだらう」などゝ云ふ事は、そう言ふもののさもしき輕薄な批判です、この問題の眞實に觸れて居らないたわ言です、ましてや、その身北原君を「裁く」と稱する法務官が、かうしたたわ言を吐くに至つては、も早單なるたわ言ではなくて、實に北原君の公々然たる××××××××××××××××××××××××××逆宣傳に外なりません。

されば、私は言ひます――北原君の直訴が請願令違反になるかならないかと云ふ事は、第二第三の枝葉問題として、この場合、私共の眞の問題としなければならない事は、同君の××に於て取扱はれて居る事實――水平社同人に對する不合理な差別賤視の撤廢するものであります、而して、その差別撤廢を實質的に行ふことこそ眞に重大な問題なのです。

此の事に就ては、おそらく何人と雖も異論をさしはさむものはないであらう。

五

其處で、私は、ここにこと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

どとしい引證をするわけではありませんが、明治四年既に早く差別撤廢太政官令が出て居るにも拘らず、少しもその實行を見ないことは、正に官憲當局の法令實行に關する責任曠廢の問題である事を指摘します。

此の事に關し、水平社の某同人は、×××××××××× 、差別撤廢の法令が出たのに之を實行しない政府當局は、×××××××××××だと云つたことがあります。だが、私に言はすれば世界大戰ヴイルサイユの講和會議に「人種的差別撤廢」の法案を提議した日本が、內に同族の差別賤視を行ひ、剰へ、左樣した差別賤視を叫ぶ、水平運動を暴壓する日本の支配階級は、如何に我儘勝手な虛僞と欺瞞の固まりであるか、と云ふ事を糺彈せずには居られません。

かうした事を考ふれば、考ふるほど、北原君の直訴問題に對して、差別撤廢を叫ぶ事を惡いと云ふ人はない筈です、と同時に、支配階級及びその代辯者共が、北原君の直訴行爲を非すべく「請願令の形式を採つて居ないのが怪しからん」と云ふならば、私共は、北原君の直訴した要求を正式自發の請願運動に展開してあくまでも之が貫徹を期すべしである事を提議します。

六

憲法第三十條に「日本臣民は相當の敬禮を守り別に定むる所の規程に從ひ請願を爲すことを得」と規定して、立派に請願を許して居ますにも拘らず、正式に發する請願運動までも、之を彈壓するやうな場合には、私共全民衆は起つて彼等の專制不法と鬪はなければ爲りません。と云ふても、私共は、決して、請願其の事に直接の效果を期待し過ぎては爲りません。

何故なら、今日の所謂請願令による請願は憲法で許して居る請願を眞に許した方法だとは思はれないからです。敢て、私の直言を許して貰へるなら、むしろ、憲法で許して居る請願は、×××××××××、その眞の主旨に協ふものではあるまいかと思ひます。

私の斯く云ふのは、所謂請願の眞意義を以て、統治機關のすべてに誠意を認められない場合の最後的手段なりとするにあるからです。然るに、今日の請願令によると、請願は內大臣の手を經て、と云ふことになつて居ります、然も內大臣がその請願をどう處理するか——執奏せられたか否か、と云ふことに就ては「指令を與へず」と云ふ事になつて居るのだから、眞に請願どほりの願意が、聖意に通じてゐるかどうかは、全然之を窺知し得ません。

從つて〇在的統治機關共の欺瞞陰蔽を知りぬいて居る私共全民衆は、現在の請願令に滿足する事が出來ないのです。

斯のやうに論じて來ると、尙ほのこと、北原君の×××××、憲法に規定せられて居る請願の主旨を認むる者に執つては、其の志を酌まなければ爲らない所以が、極めて強く理由付けられると信じます。

況んや、水平社同人に對する軍隊內の差別事件に關する直訴問題は、北原君今日のそれに始まつたものではありません。福岡第廿四聯隊の差別糺彈問題に就いて、昨年、九州の水平社大會に上奏の緊急動議を出した者がありました。勿論それは、強制的に取り消させられましたけれども、時の臨監當局は、夫れを直訴問題として計畫される事を怖れて、××××、所謂福岡聯隊爆破事件なるものを捏ね上げた事は、あまりにも明白な彼等の彈壓として、天下公知の事實であります。

七

しかも、北原君は如何なる人でしたか？、彼等支配階級陸軍當局は「入營當時から軍隊に世話をやかせた不良兵卒だ」と云つて、北原君を中傷して居ます。如何にも私共全無產者を×××××として、彼等少數支配階級のみの利益を目的とする軍國主義──その軍國主義に反[illegible]する北原君が、軍國主義の殿堂たる軍隊に於て、所謂×××××××である筈がありません、その入營に際しては、剃冠期を揭げて「俺は×××××××となつて行くのだ」と叫び、不合理極まる×××××られて [illegible] は、私共全民衆の血を [illegible] ×主義に抗議して、[illegible] 北原君です。こうした北原君が軍隊內の差別問題に對して、敢に隊長を糺彈しながら、忍んで軍隊に×はれて居たのは何故だと思ひますか？、彼等支配階級は「それは賣名のためだと逆宣傳するのですが、それは決して賣名のためなどと云ふ[illegible]ではありません。[illegible]

[illegible]

×、×××××××××× [illegible]

つてしまつたことを雄辯に物語るものだと思ひます。

八

がしかし、私は敢て、さうした事柄の詳細を茲に論じやうとするものではありません。が、とにかく、先にも述べた如くに、北原君の直訴は、よし、請願令違反であつたにもせよ、請願その事は當然すぎる程當然のことなのであります。そして、現實に、謂はれなき賤視差別の事實がある以上、之を撤廢しなければならない必要を認めて居るものは、正式に差別撤廢の大衆的請願運動を起す事に反對する筈がありません。

實は、從來に於ても、左樣であつた如くに、何事にでも文句を附け、これをぶち壞さうとする者は、初めから差別賤視撤廢の正式請願運動を起したら、たしかに何かの文句をつけるかもしれません。だが、現に、此度の北原君の直訴問題について、只だ其の「方法の惡かつたことのみを非難して居る者は、方法さへ良ければ——即ち、正式の請願運動でさへあれば、勿論文句のつけやうがない筈です、從つて、又、それは、彼等支配階級は差別賤視撤廢の運動を起す事に不法な彈壓の口實を與へない情勢を展開したものです。

ここで、私の一言したい事は、水平社同人に對する差別賤視は、想像外のひどさです。水平社大會に叫ばれる「死せる獸の皮を脫いだ報ひとして、生き作ら人間の皮を脫がれた虐げの慘たらしさ」と云ふ言葉は、あまりにも悲痛無慘な差別賤視の生んだ叫びです然も、北の水平社同人をして、獸の皮を脫がざるを得ないやうな狀態に陷れた者は、一體誰だつたのでせうか……であり作ら、彼等は北の問題が起ると、賤視の言辭を以て、何等の他意を挾まない不意な發現だと云ひます。だが、差別を受け賤視を受ける水平社同人にとつては、死よりも辛い悲憤なのです。水平社同人の差別賤視を悲觀し、激憤して自殺したものが年に二百人を越へたと云ふ報告があります。その中には、差別賤視に悲觀して、自ら鐵路の露と消えた僅かに十三才の少年もあります。水平社同人の退學兒童の多いのも、差別賤視の結果なのです。特に、部落內の差別事件に至つては、福岡聯隊事件で取調べられた事例が澤山あるのです。

九

斯うした私共の同族同胞たる水平社同人を虐ぐる差別賤視に對して、全無產者全民衆は、北原君の直訴問題を擁護に、十分考へて見なければなりません。そして、眞の此の差別が撤廢せられない間は、相攜へて、專制的支配階級の搾取と壓迫に對し、眞に鬪ふことが出來ないと云ふて居る水平社同人と共に、私共全被壓迫民衆は、差別撤廢運動を生活化しなければ爲りません。

私は一念此の事を思ふ時、此度の府縣會議員選擧に於て水平社同人の立候補者に對する投票は、殆んど部落同人のみの投票で、そこに一般無產大衆からの投票がなかつた、と云ふ事實のあつたことを甚だ遺憾に思ひます、水平社同人の中には、此の事に憤激して、一般階級鬪爭の戰爭の戰線から分離しやうとしてゐる者すらあります。だが、勿論それは奸計であり謀略であります。現に、私の知つて居る事實によると、三重縣從岡村で、村會議員選擧の際、水平社の立候補者が、差別糺彈問題で入獄中なりしにも拘らず、且つ又、水平社同人の投票が全部入つても當選數に達しえない狀態なりしにも拘らず、農民組合の投票によつて勝利を得たと云ふ水農聯合の美しい共同鬪爭の勝利があります。

私は、この事實を指摘して言ふた事があります。——眞に苦しみを分ち、眞に鬪ひを共にする者は、共にその苦しみを知るものでなければ爲りません。水平社同人の差別に泣き、賤視に憤る魂と、農民の搾取に泣き、虐げに憤る魂は、その形こそ異れ、實は二つならぬ一つであります。ここに、全被搾取大衆、全被壓迫大衆の搾取者、壓迫者支配者に對する共同戰線の成立し得る根據があるのです。又、共同戰線を張らねばならない必然性があるのです……と。

だから、私は、此度の北原君の直訴問題を機會に、水平社同人が差別撤廢の正式請願運動を起すと共に、一般被壓迫大衆は、之を支持し自ら絕對に差別せざる事を誓ふ心を以て之に參加し、水平社同人の目的を貫徹せしむる事によつて、之を專制政治的支配階級に對する固く强き共同鬪爭の基とする爲に、最大の努力をつくすべきであると信じます。

（一九二七、一二、四）

（二十七頁より續く）

杉山元次郎

反動團體の暴力行爲に對して我々の力に於ても之に對抗し得るだけの實力を養ふて置かねばなりません。我等は敢て暴力を振ふものでありませんが、買はれた喧嘩には男のイチでもやらねばなりません。其の爲め靑年前衞隊を作り大に武を練ることです。右御答へまで

淺沼稻次郎

建國會の事と存じますが、大した代物に非ずと存じます。勞農黨がなぐりこまれてだまつて居るのは彼等の意氣地なしを示すもの、立合演說を申込まれて暴力團に言論を以てしてはと默殺する態度も奴等の無氣力を示すもの、然し我等は斯の如きを反動團體は徹底的にやつつける要あり、暴には暴を以てといふ古語もある。

無産政黨大會傍聽記

◇日本勞農黨、◇日本農民黨、◇社會民衆黨、◇勞働農民黨

覆面の密使

十一月二十七日より十二月十三日に至る二週間餘は無産政黨の大會季節である。この各黨の大會において、その最も中心問題となるべきものは、先づ無産階級戰線の統一問題であつた。最近における支配階級の攻勢を見ても亦過去に於ける各黨の經驗から見ても戰線の統一は大衆の止みがたき要望となつた。殊に日本社會運動に對するコミンテルンの見解が福本主義を分裂主義であると攻擊して一大波紋をえがき、福本イズムによつて空しく埋もれ來たつた山川主義の策動、或ひは立黨以來長らく勞農黨に壓倒されて來た日勞黨のこの客觀的狀態に乘じての進出、勞農黨の注目すべき他黨方針の方向轉換等に、そのいづれを見ても合同問題を中心として無産黨大會は相當の紛糾と論爭が行はるべきであつた。果して十一月二十七日より開會された日勞黨大會はこの問題を中心として論爭された。ではこの戰線統一は如何に決定されたか。この四無産黨傍聽記もそれを中心として記されたものであつて、普通の傍聽記の形式を離れたものと思ふが、讀者諸君もこれを許される事と思ふ。

日本勞農黨第一回大會

―戰線統一は如何に論議されたか―

日勞黨第一回全國大會は十一月二十七、八、九の三日間芝協調會館にて開かれた。

二百十七名の代議員（本部員共）を初め、招待席傍聽席は早くも滿員の盛況の裡に三輪壽壯氏の開會の辭によつてこの興味ふかき、日本社會運動に如何に波紋を卷おこすかの注目を受けつゝ大會は初まつたのである。麻生久氏の議長の下に大會は三日の間熱烈な報告、質問應答、說明の中に、進行したが、この大會の中心問題は何をおいても先づ、無産政黨統一に關する問題であつた。山川派の合同論、及び無條件合同の假面を急造りした福本一派を前にして、それは最も熱心に討議さるゝべきものであつた。

◆

大會第一日よりして、この問題は早くも全代議員を動かすものであつたが、最も白熱的場面を展開したのは、三日目即ち二十九日の午後であつた。

『全無産政黨統一に關する決議案』（中央委員會提出）は日勞黨の策士として自他共に之を許す田所輝明君でその論鋒の鋭さ、蓋し適役であつた。田所君の一時間に餘る說明は微に入り細を穿つて、全代議員に何等の質問をも出さしめない程要領を得たものであつたが、その大略はほゞ次の如くであつた。

『日本勞農黨は無産階級の統一の爲め最善の努力を拂ふ事を、その立黨の精神として生れて今日に及んだ。限り無き支配階級の攻勢に見るも、全無産政黨統一が吾國無産階級の目下の急務である事は何人と雖も之をうたがはないであらう。かゝる大衆の要望を放置せんか、それは大衆をして反動への第一歩を始めしむるものであり、且又無政府主義者の政治否定、經濟主義者の政治的中立及び政治的無關心へのよき溫床を與ふるものである。されば吾が日本勞農黨はかゝる運動に好適せる地位を利用して、適當なる有らゆる機會に於いて、この大衆の要望と從つてまだ吾黨の立黨の精神からしても各黨の統一を促進し提議すべき階級的使命を有する。しかしながら、吾等は、各政黨の具體的統一を初歩的にも最大限度に可能にする條件は、宗派的分裂主義なる福本主義の排除である事を確認する。彼等が長くその背後の力と賴みし第三インターナショナルさへも、今や正當にも『實踐的分裂主義宗派主義』の極印を捺した。之に對して福本一派は、自らの過去において爲せる誤りを何等精算する事なくして、厚顔にも統一運動を要望せる大衆をゴマ化さんが爲め、方向轉換をもつて各無産黨に合同を提議するに至つた。しかしながら、彼等の合同や、決して眞の統一の爲めの誠意あるそれでは無い。假面をまとへる提議である。之、吾が黨が勞農黨の提案を拒絶し、而して新にこの宗派的分裂主義の排除を單一絕對條件として合同を提議するに至つた所以である。』

田所君の熱辯は滿場の傍聽人、及び代議員に片づを呑んで傾聽せしめた。田所君の說明終るや、坑夫組合の加藤勘十君、全日山陰農民組合の野口龍三君、互に福本一派の過去における分裂政策及び、その共同鬪爭の誠意なきを個々の實例を引いて補足說明し、本部案を金城鐵壁の中に守つて了つた。

これに對する質問の重なるものは、次の如くであつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

問『福本一派の排除は合同してからやつてはどうか。』

答『福本一派の如き分裂主義者が何等自らの誤りを聲明しない以上、彼等の合同論も何等かの陰謀によるものであり、無條件に合同する時は彼等の策動によつて戰線の統一を遲からしめ、支配階級の乘ずる所となる。』

問『福本一派を追放して合同するにはどの位ゐの時間がかゝるか』

答『相當かゝると思ふ』

問『勞農黨の幹部派はみな福本イズムを奉じてゐるのか』

答『大山氏、細迫氏などは追隨者であり、その背後にあつてあやつる者は福本一派である』

問『福本イズムの一派とは然らば、どんな雜誌、新聞によつて活動してゐるのか』

答『マルクス主義、無產者新聞農民運動、政治批判等である』

問『では勞農黨が福本一派を排除するとしたら、それはどんな事か』

答『勞農黨が過去の誤りを大衆の面前に聲明した時である。』

◆

中央委員會案はかくして滿場一致可決された。可決さるに先だち山陰の野口君は一人でもこの案に反對したならば亦一人でも之に疑惑をいだく者があれば、恐らく勞農黨の機關紙は全紙面を擧げて、日本勞農黨員は無條件合同を欲してゐる、幹部案に對して喧々囂々として容易に決するところがなかつたと報導するに違ひない。されば吾れ等は滿場一致可決しなければならぬと叫びヤンヤと全代議員、傍聽人を喜ばせた。

◆

もう一つ重要なる問題は、無產政黨統一の絕對條件として、勞農黨の福本イズムをめぐる一派の排除を要求してゐるに反し、何故民衆黨、農民黨の右翼ダラ幹の排擊を加へないのかの質問であつた。之れに就いては、右決議案の理由案に左の如く揭げてゐる。即ち、

『今日の分裂狀態を「正當にして必要なり」と恥しらずにも主張してゐるものは、勞働農民黨の極左幹部たる所謂福本主義者と、社會民衆黨及び日本農民黨の右翼幹部のみである』

『右翼幹部は左に對して右を結成し、以て支配階級に分割支配の客觀的條件を提供し、以てその政策をあくまで遂行せしめ、その報酬として、官權的壓迫の緩和、御用組合組織權を得、勞働ブローカー的卑劣なる所謂ダラ幹根性である、利權を恒久化さんとする、この兩分權主義の理論としての克服、從つてそれに隨拜すべきその把持者と追隨者との強力的排除が全政黨統一の不可避的條件である。吾黨は有る意味においては、大衆がこの兩者を絕滅するために大衆が組織せる力である。』

『社會民衆黨、日本農民黨の所謂ダラ幹排除を條件づけないのは、彼等に屈服するのか、斷じて否、吾が黨は何人よりも彼のダラ幹的分裂主義を憎む。しかし、右翼團體に統一を要求するに際し、無條件にても拒否し兼まじき彼等にいよ〳〵拒否の口實を與へるものであり、かゝるは統一を欲せざる福本主義の對立萬能思想に感染せる考へ方である。統一を通じてのみ、しかも彼等の大衆に伍して、吾等の犧牲的行動を通じてのみ、ダラ幹を最後的に克服し得るであろう。この行動を通づるの一點は吾黨の鬪爭規模を福本主義のそれと區別する差異である。』

と苦しい解釋を加へてゐる。說明書は右翼ダラ幹の排擊をするのは福本主義に感染してゐると云つてゐるが、日勞黨の幹部案も、それに負けず劣らず對立主義的考へ方である。何故ならこの幹部案も、社會民衆黨の拒否を必然として組立てたものである。何故ならこの說明書の中にも民衆黨幹部は合同してから追出すと書いてある、民衆黨の幹部は何を好んでこんな危險なところへ入るものであろうか。之、私が日勞黨の說明書が社會民衆黨の拒否は必然なりとした上に組立てたものであると爲す理由である。

日勞黨の腹はおそらく次の如きものであろう。即ち、勞働農民黨の他黨態度の如く、

『今に見ろ、吾々の働きかけによつて大衆が幹部と離反して了ふであらう』といふ考へをもつて社民、日農の兩黨に高をくゝつてゐるのである。

それは、かの總同盟大會直後の日本勞農新聞の記事を見たものゝうなづくところであろうと思ふ。

もし、初めからほんとうに無條件合同をする氣なら、あんな說明書は書けない筈だ。

社民、日農の大衆がその改良主義の指導方針にあきたらざる傾向の強く表はれてゐる時、日本勞農黨はその有利な客觀的條件をもつて、大衆を獲得せんとしたのであろう。之、日勞黨が右翼に對して無條件合同を唱へるに至つた眞の腹である。それは勞農黨の各政黨の無條件合同と軌を一にするものである。こゝにおいて私達は、日勞黨が勞農黨にのみ有條件合同を唱へるのは、勞農黨が恐ろしき強敵である事を深く意識した結果であると考へる。

今後日勞黨の鬪士諸君が、勞農黨の他黨態度の方向轉換のドサクサまぎれに乘じて、勞農黨の理論上の混亂を愈々深からしめ、もつて日勞黨立黨の精神を確固たる基礎の上におき、その勢力を增大せしめ戰線統一に勝利を得る事は、蓋し興味深き事であり、亦それが、無產階級の正道である限り(勞農黨の分裂主義を排する事、社民、日農の改良主義を排する事)吾人も日勞黨の努力を陰ながら應援したいと思ふ。

◆

以上この傍聽記の與へられた紙數はすでに超過したが、尙大會の重要なる議案は種々あつたが、その二三を列記し

てこの傍聽記を終りたい。

　五十四議會が目前に迫つた以上その對策も討議された。而してその闘爭方法は決定せられた。即ち、

一、勞働組合法、生活賃銀法、失業保險法制定、健康保險法改正要求運動の件
一、徹底普選獲得運動に關する件
一、出版法、新聞紙法、治安警察法の改正
一、休銀預金者救濟運動の件
一、農地法案反對の件
一、立毛差押、立入禁止絕對反對、小作法獲得に關する件
一、惡稅改廢運動の件
一、政策改正の件
一、借地借家法の改正と全國的實施

　その他やがて來るべき總選擧と黨勢擴張の爲めの議案も愼重討議された。

一、日本勞農黨方針書
一、組織改造案
一、總選擧對策の件

　役員の改選の結果、書記長は麻生久氏となり、黨首は保留されたが、大原研究所の高野岩三郎氏の呼び聲が高い。

　日勞黨は現在の黨員數一万七千三十九人、支持團體加盟總數十万五千百人あり、黨員はかくして戰線統一へ、福本一派の排除を單一絕對條件として戰線統一へ戰線統一へと叫び、異常な緊張の裡に大會の幕は閉ぢた時はすでに雨を催す初冬のたそがれであつた。

社會民衆黨第一回大會

——墮落を强要する幹部の正體——

　社會民衆黨年次大會は十二月四、五の兩日芝協調會館で開かれ勞頭、中央執行委員長安部磯雄氏は、今日の日本社會運動の分裂抗爭の狀態は慨かはしき次第であり、吾黨は無產階級の大同團結に猛進せねばならぬと黨員を激勵し、黨の費用はあくまで黨員の正しき淨財によつて基礎づけなければならぬと、英國勞働黨の例を引いてその可能なる事を力說し、吾等は人道主義の立場より社會の不備缺陷の爲めに進まねばならぬと結んだ。

　出席代議員二百二十四名、議長に安部磯雄氏、副議長に鈴木文治氏、島中雄三氏を推した。

×××

　海員組合の祝辭の中に『社會民衆黨は英國における保守黨として殘る事と存じます』とやつてのけ『然り然り』と傍聽席を笑はせ、狀勢報告においては、或る人は、社會民衆黨は過去において最も勇敢に戰つて來たと叫び、或る者は極めて消極的であつたとして、すでにその不統一を暴露した。

　社會民衆黨の如何に非階級的であるかは、渡された議案を見ても分る。即ち

『大臣、政務官、知事、兩院議員及び府縣會議員等は全部無給たらしむる件』
『普通選擧における第三者運動即ち獨立運動撤廢の件』等を見よ。

　無產政黨の議員は呑まず喰はずにやれと云ふ事であり、無產階級の選擧運動を故意に防害せんとするものだ。

　第一日における主なる議案は、

『賤視觀念打破に關する決議案』可決說明安部磯雄氏
『黨政策改正に關する件』『黨則改正に關する件』本部提出松永氏說明委員附託

第二日

　朝寢に祟られて漸く會場へ驅けつけた時には、はや鈴木文治氏の議長代理によつて、だらしなき會議が、進行してゐた。傍聽席もまばらであつた。代議員のだらしない事は晝食の休憩を宣した時鈴木文治氏が『今朝の樣に集まりが惡くては議長もウンザリ致します』と云つたのに徵しても明かである。

重要なる議案

『議會即時解散要求の件』本部提出、說明赤松君
は滿場一致をもつて可決
次いで
『現內閣彈劾の件』
は
一、資本家的豫算の排擊　說明松永
一、地主擁護の自作農創定案の反對　松永
一、欺瞞的地租移讓反對　松永
一、對支反動外交排擊　宮崎
一、反動的勞働政策の排擊　松岡
一、資本閥擁護の銀行整理反對　小池

　以上の項目に分つて松岡、小池、宮崎、松永の諸氏この說明に當つて、これ亦滿場一致可決された。而して、實行委員をもつて遂行せしめる事になつた。松岡氏は『反動的勞働政策の排擊』の說明の折柄、岡谷における青年訓練所、在鄕軍人會の罷業破りの狀勢を述べて中止を命ぜられた。この時一齊に拍手を送る代議員に向つて、『默れ』と呶鳴つた警官があつた。

　議長、鈴木文治氏は『議長の整理は議長が致します』と一喝する。

　總同盟の齋藤健一君は『吾々はあくまで闘爭によつて無產階級の解放を圖らねばならぬ。現內閣の勞働政策たるや盡く勞働組合の破壞策ではないか』

　齋藤君よ、よくも圖々しくも云へたものだ。資本主義の現階段においてあはれにも御用組合公認の夢を追はんとする君達にも尙闘爭を求むる希望があるのか。總同盟の機關紙勞働の中にある君のタワケタ議論こそ社會民衆黨の正體であり君の正體なのだ。

　その他

『健康保險法改正の件』本部提出、渡部君
『勞働組合法制定に關する件』本部提出、西尾君
「新聞紙、出版法改正の件』本部提出、片山君

等の重要議案はいづれも滿場一致をもつて可決された。

問題の合同問題

午後になつて傍聽席の人の多くなつたのは問題の「無產政黨合同に關する決議案」が上程さるゝからであつた。この說明は民衆黨の理論的指導家と人に許される赤松克麿君であつた。

赤松君はかくて協調的民主主義の埒內に社民黨大衆をひたすらに止めんとして努力したのである。

赤松君は「日勞黨が今になつて無產階級戰線の統一の必要を初めて知つたのか」とデマゴギー振りを發揮し、社會民衆黨のダラ幹連を喜ばせ、

「日勞黨は彼の第三インターナショナルの中央委員會の聲明を楯に取つてゐる一事を見ても、日勞黨の指導精神が共產主義である事を示すものである。最近の勞農黨と日勞黨の合同論の爭ひは、日本における指導權の爭奪である事をはつきり知らねばならぬ。即ち日勞黨は山川一派の分子によつて、福本一派を葬らんとしてゐる。

しかしながら、世界における狀勢を見ても、第三インタの指導精神の次第に沒落しつゝある事を示してゐる。吾社會民衆黨こそこの世界の狀勢の正しき認識の上に立脚したる指導精神を有するもので、最も將來を有する政黨である事を確信する。

吾黨は眞の無產政黨の合同は反共產主義の立場に立つてのみ可能である事を信じて疑はない。今回の日勞黨の提議は眞に合理的立場に立つものにあらずと思惟する。日勞黨の提議は、山川主義を奉ずる一部幹部の陰謀である事を信ずる。即ち、彼等は現在日本共產運動の指導權を得てゐる福本一派に向つて攻擊を開始せんとしつゝあるではないか。即ち、吾々は日勞黨が、共產主義の立場、第三國際主義の上に立つ事を放棄せざる以上、合同し得られないのを遺憾とする。もし、日勞黨にして反共產の旗を鮮明にした曉においては進んで合同を提議する熱意を有するものである。

殊に、吾れ〳〵が日勞黨の提議を信ずる事の出來ないのは、彼の日勞黨の方針案の中に、日勞黨は右翼とは無條件に合同し而して後幹部を放逐して大衆を獲得するのだと云つてゐるのは吾黨に云ふべからざる侮辱を與へ無產階級の大同團結に熱意を有せざる證左である」

と言ひ、勞農黨、日勞黨の第三國際主義に立脚する事をコキおろし、勞農黨と日勞黨は日本の共產黨の左翼と右翼である吾れ等は指導精神を異にするものと絕對に合同してはならぬと結んで徹頭徹尾、改良主義のダラク思想を大衆の頭に植えつけたのである。

この赤松、松岡の幹部連に附和雷同する二三の代議員は無暴にも「日勞黨と勞農黨との爭ひは指導精神の爭ひにあらずして、ある物質の爭奪戰である」と叫び、傍聽席の嘲笑を浴びた。然らば借問す、社民黨の幹部連と政友會との醜聞を安部黨首の淨財によつて組立てられてゐると自稱する社會民衆黨こそ、裏面に迴れば他の政黨を問責する資格が何處に發見出來るのだ。吾人は金を資本家から取つても敢て惡いとは云はぬ。しかしながら、それによつて無產階級の節操を賣つてその歷史的使命を放棄し、改良主義協調主義の中にとぢこもらんとする奴こそ許しがたき徒輩ではないか。

こうした一代議員の發言に對しては彼のダラ幹張本人鈴木文治氏すら、議長の資格をもつて、その發言を戒めたくらひであつた。

かくして、社會民衆黨大會は合同問題に就いては、滿場一致幹部案を通過させた。社會民衆黨は反共產こそ眞のプロレタリヤの行くべき道だと嘘をつき、大衆をあざむき、大衆の鬪爭への前進を阻止し、分裂主義の本性を暴露し、分裂こそ合理的なりとする彼等への憎惡と不滿を全プレロタリヤに燃えあがらせつゝ大會は終つた。

各無產黨よ團結せよ

田中 政藏

偏狹な黨則に、群集は、群盲は、
錯覺した。
我等の各無產黨よ、
民衆の心で覺醒せよ、
各黨が掲ぐるシグナルは、
目まぐるしい廣告塔のやうに、
赤、白、黑、青だ。
ために、群集は、群盲は、
どれ程、進軍を阻害されてゐるか。
各黨よ、お前達が眞實に、
階級打破のために、
解放運動のために、
て、あつたなれば、
偏狹な各黨の黨則を捨てゝ、
黑潮のやうに波立つ、
大衆の胸のために、
全面的鬪爭のために、
斷然と、團結せよ。
府縣議の醜い選擧結果をみ、
あの苦痛を味つた各黨よ、

俺は東へ、
俺は西へ、
俺は南へ、
俺は北へ、
小さな自我をまたしても、
持續しやうとするのか？
そんな偏狹な我等の黨則は、
ルンペン、インテリゲンチャにでも、
喰はして仕舞へ！。
俺達にはそんな小さな黨則は、
全く不必要なのだ！
もつと、もつと、力強い、
普遍的な統一黨則が必要だ。
吹きすさむ荊の風は益々荒い、
砂漠に迷つた群集は、群盲は、
餓死を待つばかりだ！
我等が信賴する各黨のリーダーよ、
速やかに團結せよ、
逃路を見失つて、
砂漠に迷ふ群集は、群盲は、
各無產黨よ、
お前達の團結を要求してゐる、
偏狹な小黨則を捨てて、
團結せよ、
團結せよ、
然して、俺達は、
戰ひ、戰ふのだ。

——一一、一六——

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本農民黨第二回大會

——合同問題に異論百出——

昭和二年十二月一日午前十時より、上野の山に第二回日本農民黨大會が開かれると云ふので出かけて見る。林立した木々の黄葉は殆んど皆な落ちて一葉を餘さず、東叡山の秋に凋落の色が深い。恰も何かを象徴してゐるが如くである。十時開會と云ふに其の日の會場である自治會館に集ひし人數は未だ點々として寥々のやうだ。

漸くにして開かれたは十一時四十分、定刻の十時に遅るゝこと實に一時間半を過ぎてゐる。流石にお百姓の集りたるを思はせる。見渡せば洋服姿まばらに、和服姿の着流しが多い。中には紋服に袴なしと云ふ風變りなのもゐる。服装から見た日本農民黨の態は、全く多岐多様、こゝにも何かの象徴を感じて思はざる苦笑を禁じ得ない。

代議員二百八十九名出席、議長に須貝快天氏、副議長に阿部乙吉、坂本利一、森義一の三氏を選任、其の他各種委員の任命があつて此れから愈々本幕に入らうと云ふのである。お百姓が三百人近くも集まつて税金が高いの、政治が惡いのと……是れが徳川何々代様の時代なら、早速に、お代官さまがお馬に乘つて後はち卷に白襷と云ふ、十手とやらを持つたデクの坊共を引き連れて『御用!御用!』の聲諸共に、忽ち阪妻そこのけの亂闘劇が始まらうと云ふ處だが、昭和聖代の御代は有難いもの……さうした場面は映畫俳優にまかしてか、警戒の、警官の數も至つて少く寧ろ寂寥を覺へる程である。

議長就任の挨拶、各地支部及び友誼團體其他の祝辭祝電の朗讀が宜しくあつて直に休憩、午後一時半再開。勞働組合評議會、解放社、東京記者聯盟、日本勞農黨、勞働農民黨等の祝辭があつたが勞農黨の分は半にして臨監の警官に中止を命ぜられた。右終つて議事に入り、

一、自轉車税、荷車税撤廢運動に關する件

二、肥料問題に關する調査機關設置の件

三、小作權確立に關する請願運動の件

四、電燈料値下運動に關する件

五、岐阜縣小作爭議に鑑み、惡化せる地主の思想取締に關し當局に陳情するの件

六、農地金庫法案反對の件

七、肥料國營を來るべき議會に請願するの件

八、全國的青年同盟組織に關する件

九、農民運動の戰線を擾亂する社會民衆黨に對する抗議の件

の九件を即決可決し、外に緊急動議として提案された保證金制度撤廢に關する件及び義務教育費全額國庫負擔、兵卒待遇改善の件等を可決して愈々本年度無産政黨大會の呼び物たる合同問題の討議に入る。

北海道同盟提案の無産政黨統一問題に對する態度決定の件及び本部提案の日本勞農黨よりの、無産政黨統一協議會設置提議に對する回答の件は、同一性質の問題たる故を以て一轄討議に附された。年を過ごした今年になつて、各無産政黨大會開催の直前に、今度は『合同論提唱』と云ふ颱風が突如として無産大衆陣營の一角から捲き起り、十一月下旬の日勞黨を始め[illegible]指してこそ此の農民黨大會をも吹きまくらうとしてゐるのである。

先つ本部案として黨内に戰線統一研究委員會を設けて、研究の後態度を決することゝし、日勞黨に對しても之れを以て回答となす。

現在日本に於ける四つの無産政黨の中で、最初の無産政黨たる農民勞働黨が結黨式を擧げて、近々三時間にして解散されたのが十四年十二月一日、昨年は十月二十四日の勞働農民黨中央委員會の大分裂に始まり、十一月には社會民衆黨と日本勞農黨とが分裂に次ぐに分裂を以てし、世人をして『日本の無産政黨は何處に行くや?』の疑問を抱かしめた。其の後對立闘爭すべし。と提議すれば、北海道同盟から勞働者と農民と提携しなければ、眞の闘爭は爲し得ない。それには單に日勞黨との提携のみならず、進んで最も好く我國無産階級を代表してゐる處の、勞働農民黨とも無條件に合同すべきである。との提案があり、此れに對し或は立黨の精神を說き、或は右翼結成論を以て、或は國體論をかつぎ出して勞農黨との合同案に反對論續出々又場全く秩序を失ひ、騷然たゝ議騷然。此の間新潟立川代議員が日勞黨と勞農黨を一諸クタにして、日勞の三宅淺沼兩氏の人身攻撃をなしたと云ふので、折柄傍聽してゐた日勞黨の三輪、河野兩本部員が嚴重なる抗議を申込む抔あり、混亂中に右提案は否決、本部案が可決され、次いで午後五時休憩して役員銓衡委員會を開いた結果左の如く決定した。

一、黨首(保留)

一、總務委員 阿部乙吉、森義一、須貝快天、大澤忠七、大野貫介

一、幹事長 平野力三

一、中央委員 約七十名

一、幹事 十五名

斯くて七時頃再開、議場空席多く代議員の或者は長々と議席に假寢の夢を結んでゐる。萬歳を三唱して閉會せるは時に七時五十分洵に萬々歳なりけるであつた。(日農生)

斯くの如く、日本農民黨大會が、合同論に於て異つた意見が百出して、醜體を暴露するに至つたのは、此の黨が、従來の無定見なるゴマカシ主義を信條とする、ブルジョア諸政黨の眞似をして、幹部の野望を果たそうとする、それからであることは言ふまでもない。既に我が國の政治情勢は、明確なる階級的對立の上に根を下ろしてゐる。これを無視して農民のみの結成に依り對立的政黨を發展せしめ樣とするところに根本的な矛盾があるのである。(8生)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働農民黨第二回大會

——分裂主義者の策動をハネ飛ばして大同團結の叫び——

一

勞働農民黨大會は、四つの無產政黨の中で一番おくれて、十二月十日から三日間協調會館で開かれた。無產政黨の中で最も歴史も古く、また去る昨秋九月の府縣會議員選擧戰において他の無產黨に比し壓倒的當選者の多數を出した勞農黨の大會が一般無產大衆及び有識者階級から興味をもつて迎へられた事は云ふ迄もない。殊に、所謂「福本一派」の立こもると稱さるゝ勞農黨が、現下の無產階級陣營內における中心的重要問題である無產黨合同の問題をどう裁くか。十一月中旬以來急速度に方向轉換した理論上の說明がどういふ態度によつて問題となるか等々の切實な要望と監視の中に開かれた。

或る人々はこの大會が或ひは横暴なる官權によつて解散の憂目を見はしないであらうかと疑惧の念を抱いてゐた。この疑惧は、勞農黨の最近における狀勢を見ても、例へば演說會は直に中止解散させられ農民團體全國協議會は總檢束の目に會ふといふ極端な官權の暴壓を見てゐるなら、多少は必ず抱く危惧の念であつたらう。

大會を如何に無事ならしめるかは、勞農黨幹部諸君の愼重に考慮したところであらう。幹部の希望のみか、全黨員の希望であつた。

細迫書記長の開會の言葉、また議場の正面にかゝげられた大會の代議員に熱告する、「我等の大會を守れ、大衆に細心に嚴肅に！」の文字こそ全黨員の熱切な要望であつた。それは幹部派たると非幹部派たるとを問はず無產階級としての要望だつたのだ。この大會こそは將來における勞農黨の運動方針を決定する無產階級の殿堂だつたからである。

果して、勞農黨全代議員諸君は、この難關を切拔けて、支配階級に乘ずる機會なからしめた。吾人は一傍聽者としてこの大會の無事なりしを喜ぶと共に、この大會を通じて勞農黨の現在過程しつゝある狀勢をはつきり知る事の出來たのを喜びとするものである。

二

私は四つの無產政黨大會を盡く傍聽したが、何と云つても、勞農黨の大會は盛大であつた。傍聽席は常にすし詰の盛況であつた。特記すべき事は、恐ろしく警備の嚴重なりし事であつた。傍聽席に行く迄に十回ぐらひの檢查に會つた。

度々建國會等に襲はれ、亦官權によつて解散される恐れのある大會にとつて、警備隊の活潑な活動がなければ、或ひは大會は解散させられたかも知れなかつた。

第一日の日建國會が押しよせ、それを遮つた警備黨員二名が檢束されたに對して、大會がその報告を求めた時、警備隊員は叫んだ。

「吾等の大會は警備隊によつて守るのだ。」然り、全代議員の嚴肅な態度と警備隊によつて大會は完全に守られた。

三

果して大會の中心問題は合同問題であつた。

細迫兼光氏の開會の言葉より、大山郁夫氏の議長就任の挨拶、或ひは祝辭祝電の一つ一つに到るまでこの合同問題を取あつかはないものとてもなかつた。

從來、勞農黨は他黨の指導精神が放棄されざる限り合同は絕對反對である、即ち勞農黨は飽く迄對立鬪爭によつて他黨の大衆を吾黨の傘下にのみ集め得られ得ると信じてゐた。

合同する前には一度さつぱり分離して了はねばならぬ。同じ氣の合つた物同志が多少でも指導精神を異にする連中とは分離し、而してそれは、思想的對立より、漸次、組織的、戰術的、政治的組織にまで高められねばならぬと。彼等は現下の客觀的狀勢と、協同戰線黨の歷史的な意義に就いて明確な意識をもつてゐなかつたによるもので、この分裂主義の幻想的花々しさは、かの學校出だての書生ッポの支持するところとなり、かの府縣議戰に際して、無產政黨とは對立しても、革新黨とは協定しなければならないなどゝタワイない事を云つたのである。

勞農黨は左翼であると云はれてゐたけれども、眞正の左翼は反ブルヂョア勢力の大同團結の爲めに努力こそすれその分裂の狀態をもつて合理的であると爲すものではない。この意味において小兒病的左翼は、右翼のダラ幹と共に反動的の役割を演じたのである。

この勞農黨內の福本一派に對して、同黨內の山川主義を奉ずる(大衆派)は山川一派によつて唱導され初めた無條件合同論を支持し、盛んな暗鬪が演ぜられたが、常に勞農黨の福本一派の爲めに壓迫され、勞農黨は口を揃へて無條件合同論は反動主義であるとさへ極論した。しかしながら現下の客觀的狀勢は、支配階級の攻勢益々盛んなるものであり、大衆の窮乏日に加はり大衆の間に戰線統一の要望が萌やしはじめた。加ふるに、第三インタナショナルは福本イズムをもつて宗派的分裂主義であると爲して排擊しはじめた。この理論的對立、大衆の要望をいち早く見てとつたものは、勞農黨と社會民衆黨の間にあつて、一年の苦しみを味つた日本勞農黨であつた。日勞黨はこの風に乘じて黨勢と陣營の立直しを策した。

これより先、勞農黨は大衆

要望のとコミンテルン聲明の混亂によつて著るしく、理論的混亂となつて表はれた。その結果、勞農黨は十一月中旬、無産者新聞に無産政黨合同協議會提唱の社説を掲げしめその提唱に應じたといふ形式にて急速度に合同論にまで進んで來た。しかしながら、彼等のその合同論こそ、從來の對立分裂思想の延長であつて、大衆の合同要求をゴマ化す爲めのヴェールのみに過ぎなかつた。

しかしながら、この勞農黨の態度の急變が例へその延長であり、ゴマ化しであつたとしても、その理論上の混亂を示すものであり。福本主義の、失敗を裏書するものであつた。

四

この勞農黨の態度の變更に就いて大山郁夫氏はその勞農新聞大會號に左の如く記載してゐるが、それは、勞農黨の態度を旨く理屈づけん爲めの、思ひつきに過ぎないのである。

「曾て我が黨のみが政治的自由獲得を指導原理として戰つて居り、他黨の指導者たちが其の上に冷眼を投げてゐた間は、わが黨は飽まで他黨の指導原理を排撃し殊に政治的自由獲得闘争の重要を無視した所謂無條件合同論に對しては、完膚なきまでに批難の筒を放つた。ところが今や形勢は上に述べた通りに一變した。て、わが黨は最早、他黨の指導者たちが協力共れに觸れることを回避する政治的自由獲得闘争の原理に關する議論に拘泥することとなくして直に合同問題の協議に入つても、わが黨が從來終始一貫して指導して來た政治的自由獲得闘争の純一性が失はれゆく虞れのなくなつたことを確信して、この間に於ける極めてデリケートな諸關係にも最善の考慮を拂ひつゝ、萬難を排してこの合同提唱を最後の完全なる大同團結に迄導く決心を固めたのである。」

日勞黨の所謂單一絕對條件を大衆の力で粉碎せよの聲は大會において常に叫ばれた福本一派の策動であつた。

勞農黨幹部がこの大會において、反福本派の擡頭を恐れて、極力代議員選出の方法にも考慮し、その不統制を隱蔽せんとしたのであつたが、第三日目の合同問題の議案中、勞農黨の分裂政策にあきたらざる四五の代議員の有力なる質問によつて、幹部は如何に狼ばいしたか。そして、その代議員に向つて聞くにたへぬザンプを投げつけたのであつた。加ふるに、勞農黨の中央委員に大山、細迫の兩氏を除けばもうから駄目な中央委員揃ひで難波英夫氏の合同問題の説明など不得要頭の頂點に達し、滿場をアッケにとらせるものであつた。かの田所君赤松君にくらべて、低腦ぶりを發揮した。しかし、それは難波君の低腦さではなく、勞農黨の混亂の反映したものであつたからである。

難波君は云ふ。

「勞農黨は極めて短時日にして方向轉換した樣に云ふものがあるが、吾黨は、かつて日勞黨を排撃した事はありません」など、デタラメをならべ立て、代議員の痛切な質問に對しては、いづれも的はづれの答辯をした。

宗派的分裂主義排撃の聲は、かくして極めて都合よく代議員を選出させた大會においてすら、活潑に續出し之に對し幹部は、その發言をおさへつけあらゆるみにくき策動を試みたのであつた。

無産者新聞を代表した祝辭の中には「第三インタが勞農黨の指導精神をザンプしたといふ者こそ、日本のプロレタリアート、及び世界プロレタリアートを侮辱するものだ」とある。しかしながら、吾人は勞農黨からは第三インタの聲明が間違つてゐるといふ正しき報道を聞かない。もし、それが噓であり、何かの間違ひであつたら、敏速なる勞農黨紳士諸君はもう大々的にそれを大衆の中に聲明する筈だ。それが眞實なればこそ、勞農黨の内部の混亂となり、過去における誤りが自覺されつゝあるではないか。もし、これが山川や日勞黨の根もなきザンプであるならば、勞農黨は決して合同論的覆面を分裂主義の上に蔽はなかつたであらう。彼等は合同を叫びつゝけながら又それを都合よく理論づけながら尚分裂主義を奉ずる事こそ世界プロレタリアートを侮辱するものである。

五

勞農黨の政治的自由獲得の要求は、現下の協同戰線黨の指導精神として正しい。協同戰線黨とは、反ブルヂョア的勢力を結成した事を意味する。この被壓迫階級の協同戰線を分裂させる事は、協同戰線黨をもつて前衛黨なりとする誤謬と、協同戰線黨における左翼の任務を忘れたものと云はねばならない。

政治的自由獲得の爲めには、あくまで大同團結して行く事によつて、フラフラした政治的要求が鐵の樣な政治意識に結成されるであらう。

勞働農民黨大會は、かくして、合同へ合同への大衆の叫びを、ひたすら隱蔽せんとする幹部の苦心をあきらかに曝し出した。しかしながら大衆の叫びはかゝる專制的分裂思想に對して斷乎として抗爭の矢を放つた。勞働農民黨大會が、かくして大衆の聲を制する事の出來ない福本一派の野心家の末路を豫測させた事において、私達は、無産階級の大同團結の日が近づき來つた事を知る事が出來た點において、この大會の有意義なりし事を喜ぶものである。

否、大會のみに限らんや、全土に渉つて分裂主義排撃の波は、湧き立ち、捲き返つてゐるのである。

分裂主義者討滅萬歲、

無産階級團結萬歲、

いざ全代議員諸君。歷史の諸君に要求する任務は大きい。

來るべき一九二八年萬歲

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

プロレタリア藝術團體の分裂と對立

——主に勞藝と前藝の分裂に就て——

金熙明

一九二六年末日本無產文藝家陣營內に於ては、一部のアナキスト對コムミニストの對立分裂があり、之を機にコムミニズム文學家は、全日本の無產階級運動全般的情勢に合流して果敢なる政治的鬪爭段階に進展した。

然るに一九二七年の七月はしなくも、マルキシズムを規範とする『日本プロレタリヤ藝術聯盟』は、內部に於ける藝術理論の相違に依り果敢なる理論鬪爭の結果遂に理論の對立を見、分裂の止むなきに至つた。

卽ち『日本プロレタリヤ藝術聯盟』對、その分派『勞農藝術家聯盟』の理論的對立であつた。

而して今回また勞農藝術家聯盟の內部に於ては更に政治的理論の相違の結果、之が對立を見、數次の理論鬪爭も效なく遂に分裂を敢行したのである。その結果殘留組はその機關紙『文藝戰線』を、占獲し、脫退組は、更に『前衛藝術家同盟』を再組織し、『前衛劇場』と共に鬪爭を展開しつゝある。

右に述べたる如く、日本に於けるプロレタリヤ藝術は、極めて短期日の間に想外の發展を見ると同時に、從つて慌たゞしい對立分裂の騷鬪を演じつゝ來た。

今その對立並に分裂の理論的根據を極めて、簡明に分析を試みるであらう。

マルキシズム對アナキシズムの對立は、今更論を挾む餘地もない事柄で、各自の主義に依屬する文藝家が從つて分離するのは當然なことである。しかしながら同一マルキシズムの圈內に於て、藝術家は如何にして分裂したか、またそれは正しいことであつたか、然り『マルキシズムは、その基準に於て一元的性質であるが、その實踐上に於て屢々方法論上の相違點を見出す。』

斯る情勢の下に、日本プロレタリア藝術聯盟對勞農藝術家聯盟は、同じくマルキシズムを遵奉しながらもその實行上に於ける組織問題ならびに、藝術家團體對黨の關係(藝術政策)及び藝術理論(作品生產と政治鬪爭)の諸問題が銳く觀點を異にし、主體を異にせる鬪爭を展開せざるべからざる情勢にあつたからである。之は、マルキストとして取るべき當然な態度であり、兩者共全く正しい。

之に引較べて、今回の勞農藝術家聯盟の分裂、卽ち勞藝對前衛藝術家同盟の理論的對立は、前者の藝術理論的對立に反し、後者は、その政治的理論の銳き對立に根據を有するものである。

卽ち舊勞藝內部に於ける、ひたすら沒落の段階を步みつゝある青野季吉を筆頭とする一部の意識化せる折衷主義者が、常に返り咲のチアンスを野心滿々としてねらつて居た折柄、同じく果敢ない野心の遂行のため最近に至り囈語を呟き出した山川均(本誌前號時評參照)一派と、機械的に野合し玆に意識的折衷主義一派が陰謀を企てるに至つた結果、彼等のブロツクは機關紙『文藝戰線』に山川均の原稿(文戰十二月號同氏論文參照)登載を强要し、以て文戰を折衷化せんと企てたのである。然るに同時全く勞藝の全權を把握し、その前面的戰鬪分子は之が排擊を開始し始めつゝ折衷主義者の反省を促したのであつたが、彼等は飽まで之を聞き入れず意を同じうする壯士連を傭ひ入れたりして、暴力行爲を持つて總會や、討論會は、悉く之がため阻止され、暴壓され、なほ且つ夜更けに乘じ脫退派の自宅を襲擊して、全く言語同斷の××的行爲に依り、歐打、器物破壞を敢行したのであつた。

斯くの如く現勞藝の諸氏は國粹會の暴行々爲の二代目を演じ、全く反動團體の派遣隊として、悉くプロレタリアとしての眞實な藝術運動を阻止しつゝ來た。之全く意識化せる折衷主義の醜惡なる正體暴露の他何ものでもないのである。

斯くの如くして、現勞藝は全く屑籠の如く、反動的文壇的作家の巢窟と化し去り、その機關紙『文戰』は、今度創刊されたる『勞農』と共に、意識化せる折衷主義者の陰謀策動の機關に化し去つたのである。なほ此の分裂の眞相は『前衛』新年號に於て詳述されるであらう。

此の他『日本無產派文藝聯盟』『社會藝術家同盟』等の藝術團體があるけれども、之は何れ他の機會に於て、前者と共に各々の特殊性に就き詳論するであらう。

—十二、八日—

社會科學月報

ソシウス

一部 五錢(送料二錢)
一年六十錢(送料不要)

第一號 產兒制限號(十月創刊號)
第二號 宗教批判號(十一月號)
第三號 教育批判號(十二月號)
第四號 藝術批判號(一月號)

見本の請求は五錢切手要

東京青山アパート七九號
發行所 ソシウス社
振替東京一三八九番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

全土戰報投稿規定

地方における無產運動の狀勢、卽ち演說會、大衆運動、爭議、選擧運動等を送れ。

支配階級の奸策、例へば府縣會の腐敗、官權の暴壓、裏切者の行爲、反動主義の暴擧等々を送れ。

十六字詰の原稿用紙住所氏名明記の事、揭載の分に「は進め」メダルを贈呈する。

締切、每月九日

十一月及び十二月號に揭載した人は大至急住所御一報を乞ふ　編輯部

戰線雜報

その一

南野尻村に於ける自治機關の一である東西栃波郡二萬七千石用水議員選擧に於ける同志城寶君の得票左の如し

定員　三名

當選　七十五票　大門榮太郞（民　政）

六十五票　大門　宗郞（民政、前村長）

六十一票　澁谷他八郞（民　政）

次點　三十八票　城　寶　光（無所屬、前進め支局）

用水議員は農村の水利關係上重大なる使命を有するものなりと雖も、從來は村政を私有する二三の者によりて形式的の選擧を行へるものなるが此の時選擧權始めて前進め支局城寶光君によりて確認尊重せらるゝに至れり。同君は得票三十八に過ぎずと雖も普選に非ざる制限選擧下に於て門地に非ず、村政閥に非ず、一介の無產青年なるが故に村政未曾有の競爭選擧なりき、こは十月十五日の事なり。

その二

このことに刺擊せられたる一部青年は、時至れりとなし、立憲青年黨を組織せんとの運動を開始したりしに、たま〲福野町長、安永六之丞君に對する福野町立憲青年黨の排斥運動起りしかば、南野尻村長香川豐次君は自己の立場を危くするものなりとの考へにや、自派の結束を暗默裡に固からしめて青年黨結成のことは村長候補者大窪六太郞君の策動なりとの流言を投け同黨の成立を不可能ならしめたり。

その三

されどこゝに同志城寶君派の青年一派は立憲青年黨の創立にもまして激しき村長及び特權勢力の惡宣傳を物ともせず十一月十日、農村無產階級解放の宣言を公開して堂々と自治倶樂部の結黨式並に演說會を開催せり、プログラムは左の如し。

イ開會の辭　沼田　一正

ロ經過報告　城　寶　光

ハ議長選擧

ニ宣言朗讀　松田宗太郞

ホ規約綱領朗讀　城寶喜三郞

ヘ演說會　吉田　平治　河合　安藏

ト閉會の辭　城　寶　光

當日發表せる政策左の如し。

一、土地賃貸價格等級撤廢

一、標準米の低下

一、政治ゴロの撲滅

一、村營道路の改修

一、農用諸車及自轉車稅の廢止

一、村政並に用水組合會の監視

一、電燈料金値下

一、合口問題反對

以上の問題解決のため來つて吾が倶樂部に投ぜよ

その四

十一月十五日自治倶樂部は同倶樂部執行委員長城寶光君を同日行はれなる二萬石用水議員候補者として公認し前回二萬七千石の時とは比較にならぬ程猛烈な戰闘を開始した、激烈なる戶別訪問は前夜から行はれ、同君に對する惡宣傳は四方に飛ばされた。曰く社會主義者也、曰く注意人物なり故に警部補さんがいらしやつた。云云。

かくて自治倶樂部の松田氏の如きは遂に特權者流の捕虜となつた、自治倶樂部の闘士は善戰に努めたが惜しむ可し復々敗れた。

當選　八十六票　田原豊四郞（民政）

六十三票　稻葉　太助（民政）

六十二票　南部　七藏（民政）

次點　五十六票　城　寶　光（無產）

村長派は凱歌を擧げた。自治派は恥を呑んだ。たつたそれだけのことだが、これは事實だ。進め讀者諸君の公正なる御批判に待つて報告子はペンを收める。

（NY生）

岐阜縣瓦工聯合組合生る

設立趣旨書

全瓦產業勞働者諸君よ！

今度吾等は『岐阜縣瓦工聯合組合』を設立した。

縣下に散在せる、全瓦工の兄弟よ、底知れぬ不景氣の大嵐は都市と云はず、農村と云はず吹き襲ひ、益々俺達の生活はどん底に突落されつゝあるではないか。俺達の生活はどうだ、馬鹿に安い賃錢の爲めに長時間働かねばならないし、それに他の勞働階級に比してより以上の慘めな生活を送り、又仕事の都合で幾時遠慮もなく首になり、不平は山程もあつても俺達一人一人では默つて我慢せねばならん、近頃ドン〲と機械が利用され、土煉械、切斷械、荒地拔出機等が使はれる樣になり、女や小供あがりが傭はれる事により、當ぜん俺達の半失業狀態になる事はかくれもない事實だ、殊にこれからはだん〲嚴寒になつて來ると、製品が『イテ』るので休業を餘儀なくされるのも目の前に迫つて居る、倂し親方（資本家）達は『美濃瓦同業組合』とか『中部瓦同業組合』とかと云ふ團體を作つて自己階級の利益の增進、進んでは吾が瓦產業界の進展の爲めとか云ふ、美名の下に必死となつて努力を盡して居るのではないか、そこで俺達も何んとか考へて見なければならん、俺達の此の悲慘な生活狀態をよりよく改めて進む者は矢張り俺達瓦工勞働者でなくて何人が成し得るか、此のまゝじつとして居れば俺達は當然人間らしい生活は出來ず、今迄よりも尙一層生活苦痛を忍ばなければならぬそこで俺達は斷然此處に『岐阜縣瓦工聯合組合』を作つたのだ。

俺達は皆組合に一致團結して俺達は確りと手をつなぎあひ、相互に助け合ひ此の生活の苦しい境遇より一歩抜出し眞に人間らしい生きがひのある生活を樂しまねばならないのだ。此の事は皆瓦工兄弟の日頃待ち望んでゐたところの瓦工組合なのだ。今日では、印刷工も製材工も鐵道員も鐵工も紡績女工も製絲工女も皆全國に三百有餘の組合を作つて三十萬からの組合員が居るのである。又京都では既に俺達と同じ瓦工が組合を作つてゐる、此等の組合では、首切りの時には三ケ月以上の手當を親方から出させ、賃銀を上げさせたり、親方が勝手に休業する場合には日給をとつたりして皆生活の向上を計つてゐるのだ。

全瓦產業勞働者諸君よ！

俺達は長い間忍んで來た、もう眠つては居られないのだ、起つべき秋は來たのだ。

全瓦工兄弟諸君よ！

右の成立の趣意に御贊成有りて組合に入會されん事を切に望む。

組合は俺達のものだ！

全瓦工兄弟諸君へ！

岐阜縣瓦工聯合設立本部
申込所 岐阜縣加茂郡下麻生町
水野濟宛

附記
『岐阜縣瓦工聯合組合規約』は略す
『岐阜縣瓦工聯合組合』が大體右の趣旨により生れました、先輩諸兄の御指導と御援助あらん事を切望します。

（岐阜縣進め第一支局 水野貝三郎）

坊ちやんを嗤ふ

漱石の『坊ちやん』斯うした世相も最後の症状の一つとして現はれる。けだし必然的である。帝國主義亂調に喘げる末期日本のブルジョア專制政治は既に悉く『坊ちやん』の城に委縮されて居る、それ程浮薄な潮流と化した。今は××まれる青訓生かつては忠魂碑前に走らせたり。漸く與へた骨抜き普選にすら多大の恐怖を感じ無產派に苛酷な彈壓を加へ。

過度で馬鹿をなめた縣議千渉の檢事、署長連の奉公振りは誠に悲しいローマンスである。最近官老頭山滿の反產兒制限或は學界の骨董上杉愼吉の便國會モガモボ退治硬衣隊等はいづれも自らの悲鳴『坊ちやん』遊戲に外ない。又頻りに巷間に喧され人口にカイシヤしてゐる三百萬圓掠めたとか謂ふ男田中義一は支部代表軍閥と手を握り。又しても物せんと否私腹を温め、我々同胞をシベリアへ出したり引込めたりは、物凄い『坊ちやん』振りである。侵掠本位の拓殖省を作ると遊官連を喜こばせ。

總選擧を氣遣つて富豪久原の氣嫌を取る邊りは、愛嬌な道理の話だが。ヒヨコ知事のヤレ道路港灣と黨勢擴張に出張り、警官の隱くれ蓑積極政策だのと提灯を持つ等勿論上司の指令に依ると云へ品が無くて至極憤飯の至りである。

總て彼も此もブルジョア防禦の手薄になりつゝあることを立證してゐる。 二、二〇

（高知縣佐根泰郎）

千葉縣農民組合總會

農民組合千葉縣聯合會では十一月廿日午前十一時半印旛郡八街町にて第四回總會を開催し縣下各支部黨員七百餘名は同町驛前に勢揃へをなし午前十一時五十分着の日本勞働評議會中村義明、勞農黨本部細島政男、同常任執行委員渡邊炎雄、日本農民組合總本部佐藤和治の諸氏の下車と共に聯合旗を押立て青年部婦人部約四十名を先頭に各支部が續き、警官多數にまもられつゝ農民歌を高唱し會場に乘り込み定刻に至るや、小賀宜松氏を議長に推し、祝辭演説に移り本部員全部は何れも中止を命ぜられ、午後一時議事に移る際、組合員側では議事に取締官の必要がないと退場を迫つたので押問答の結果入街町支部鈴木喜十氏は檢束され嚴重警戒裡に議事を進め、本部提出の議案中防歐反對に關する件に對して本部の關口過准說明を加へるや檢束され、同時に加納友吉、齋藤太助外會員三名の檢束あり、同四時閉會。六時から引續き記念演説會を開き、聯合會幹部の川島歴氏は檢束され、外三名の辯士は何れも中止を命ぜられた。場内一般が動搖し出したので、同六時十五分解散を命ぜられた。故に本部の辯士はやむなく歸京した。一方聯合會幹部連は衛議をこらして檢束者の返還を迫まつたが許されなかつた。

議事

一、日常經濟闘爭に關する方針
（イ）小作料輕減要求
（ロ）動產立毛差押
（ハ）立入禁止土地返還
（ニ）法廷爭議
（ホ）調停法利用の場合
（ヘ）土地會社
（ト）耕地權の確立運動
二、農民大會
三、總會に關する諸問題
a 未組織農民の組織
d 小作組合に對する方針
c 協調組合並に他協調的組合對策
b 全日本農民組合對策
e 組織に關する内部的の諸問題

◇宣言

深刻化し行く不景氣に加ふるに、今春の金融恐怖は農民大衆を、飢餓のドン底に追ひこみ、到る處に小作料、耕作權を中心とし、或は家屋税その他の殺人的惡税に對して、農民大衆の不平不滿は鬱積して、至所に大衆的反抗運動となつて現はれてゐる。封建的勢力と野合結託せるブルジョアの曰く、田中軍閥内閣はかく農民が生きんが爲めの運動の盡くをその××を以つてじゆうりんし、吾々を永遠にどれい的境地に繋がんとしてゐる。かゝる專制的暴壓に對して我が千葉縣聯合會は、勞農黨の指揮の下に大衆利益を代表して勇敢に抗爭して來た。見よ如何なる官憲の暴壓にも不拘『吾等にペンを與へよ！自由を與へよ！』と叫ぶは全縣下にみなぎりつゝあるのではないか、我等はかゝる農民大衆の、烈焰の如き要求の最前線に立つて、農民のあらゆる生活場面にわたつて、專制的暴壓をはね返し、兇惡なる地主の攻勢に對抗し、以つて戰鬪的農民組合の實務を果さんことを、本大會の名において誓ふものである。

右宣言す。

（千葉縣 鈴木喜代志）

月刊の社會辭典
問題
東京市外吉祥寺
一部十錢 問題社

眞の吾黨を結成せよ

吉田源藏

　無產大衆は今全國的に戰線の統一を要望してゐる。吾々は昨春の恐慌以來殊に這回の府縣會議員の選擧戰の經驗に依つて層一層に、吾々の戰線を統一させる必要を痛感した。吾が戰線の統一を要望し、吾々がそれの實現の速かならん事を希ふのは、所謂『吾黨』なるものゝ精神や、それの立場からしてのものではない。『統一戰線』『共同戰線』『大合同』等々の語は從來屢々各種の方面から唱導せられ、提議せられ、論議せられ、主張せられた。多くの諸先輩、諸指導者、甚だしきに至つては、ブルジョア急進主義者、自由主義者等に於てすら無產階級戰線の大合同を喧しく提唱せられた。けれども、それにもかゝはらず、今大衆が統一戰線を絶叫してゐるのは何を意味するのであらう。

　大衆は戰線の統一を要望してゐる。多くの指導者諸先輩達は口を揃へて合同を唱へてゐる。『働きかけ』だ、いや『持ちかけ』だと彼等は口を酸つぱくして大衆は耳に蛸を拵へてゐる。

　無產階級運動の總ての機關雜誌、機關新聞、諸種の集會には、大合同だ、統一戰線だと、少くともそれ等の總ては、それの爲めの鬪爭舞臺でゞもあつたのだ。統一と合同との問題を中心として、果敢なる鬪爭はいみじくも爲し遂げられた。ところが、それだのに、その鬪ひ獲られたるのは何であつたのだ。農民組合の分裂、勞働組合の分裂、無產政黨の分裂、保守的反動的日和見主義的な地方政黨の出現、これだけではないか。ブルジョアジーの分割支配の外何ものを鬪ひ取つたのだ。

　右翼を益々右翼化の、反動化し、民衆を既成政黨や、地主の支配下に追ひやつたことの外に何を獲得したのだ。實にそれは所謂吾黨の精神であり、立場でゞもあつたのだ。吾々は果敢なる鬪爭に依つて、その捷ち得たるものを、所謂『吾黨の精神と立場』とに見る。けれども大衆は『吾黨の精神や立場』は望んではゐないのだ。

　見よ、社會民衆黨の大會に、日本勞農黨の大會に、日本農民黨の大會に、大衆は何を要望してゐるか、戰線の統一、大合同、これではないか。

それは從來の如き對立的な、分立的な、一切の非無產階級的行動を排斥するところの戰線の統一である。大衆の要望する統一戰線の結成は、分立對立を實踐化する『合同の理論』や『統一の理論』でないのだ。分立對立の實際化し、理窟化する『吾黨』の精神や立場ではないのだ。

大衆の要望するものは、眞の戰線の統一である、吾々の希ふものは全勞農無產政黨の大合同である。大合同は文字通り大合同であつて、實踐に於いて分裂や對立を之事とするものでは斷じてない。吾々の要望する統一戰線の結成無產政黨の大合同は、所謂『吾黨』の精神や立場に求めるものであく、眞に大衆自身が共同鬪爭を爲し得るところの、全戰線の統一であつて、具體的に實現せらるゝところの大合同なのである。それは形の上に於ては、全勞農無產政黨の大合同によるものなのである。從つて大衆の要望する具體的統一大合同には、それの前提として具體的統一を可能ならしむ可き條件のあることは當然のことであらねばならない。

　此處に唯一無二の無產政黨があつて其の政黨が『共同戰線』『共同一戰線』『合同』等々を無產階級的純粹な立場から、提唱し、論議し、働きかけ、持ちかけを何回繰かへし、誠意や熱意を百万遍披瀝しても、過去に於いて無產階級の陣營を、分裂せしめ、對立せしめ、攪亂し、破壞して來た前科者を其のまゝそつと閣つて選く限りに於いては、吾々は斷じて其の誠意や熱意を、文字通りに受け容るゝことは出來ないのである。大衆が戰線の統一無產政黨の大合同を要望することの、今にして急なる所以のものは、其の實踐に於いて、無產階級の戰線或は陣營が、分裂對立するところの『働きかけ』『持ちかけ』なる『共同戰線』『合同提唱』にアイソをつかした

反動を倒せ

金　熙　明

『反動團體の暴力行爲』は、彼等の斷末魔的死物狂ひを演じる客觀的證明です。彼等を撲滅することの緊急なることとは云ふを俟たず、それよりも重大なることは彼等の狂犬的行動を意識的に擁護し、[illegible]る黑幕の手を斷ち切ることです。その方策としては、全無產階級的決死的勇力と、それによる政治的勢力に待たねばならないと思ひますこの意味のみからしても愈々團結の必要を痛感せずにはゐられません。

（二十九頁より續く）

しかるに此の運動は、その後の指導よろしきを得なかつた爲め、全く骨拔きとなり、單なる社交團體の如きものとなつてしまつてゐた。そして世界大戰と共に、瓦解したる有様であつた。しかるに一九一五年四月、十ケ國の代表者がベルヌに集まつて、平和問題を議した。實は此れはチムメルワルト大會（同年九月）よ

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

……と云ふより充分繕ひせられたのだ……………からである。純粋なる……無産階級的立場を嚴守する無産政黨にして、全勞農無産階級政黨の大合同結成の爲めに、誠意と熱意を以て臨むとするなれば、今にして其の誠意と熱意とを表明す可きの止むなきに至つたる自己が過去に於ける過誤……實は過誤にあらずして罪惡だ……を清算す可きである大衆の要望する合同は共同闘爭を爲す可き爲めの合同であつて、「統一の前の分離」によつて、分裂、對立……右翼の右翼化、反動化、左翼精神の墮落、吾黨精神の濫造……を合理化し、理論化することの破壊團、攪亂黨の徒黨の結成ではないのだ。かゝる徒黨を吾々の陣營から排除し、驅逐することが、これこそ大衆の要望する大合同への正道である。かゝる徒黨を吾々の陣營から排除し、驅逐することを大衆の前に提議し、公約するものゝあるなれば、それは眞に戰線の統一、無産政黨の大合同を要望するところの大衆の意思を、最も正しく看取し得たものであらねばならぬ。

無産階級政黨の立場を嚴守するもの程、それなれば、それ程に大衆の要望する大合同への正道を拓かねばならない。一度乗り上げた暗礁のある航路は、如何に地圖の上に示されてあるとも、賢明なる船長の斷じて通らざるところである。羹に懲りたるものは韲さへも吹く、況や韲ならぬ羹に於いておやだ。

ともあれ大衆は戰線の統一を欲してゐる。吾々は無産政黨の大合同を心から希つてゐる。社會民衆黨の大會に徵しても、日本勞農黨の大會に見ても、勞働農民黨の内部に於ける對立派と合同派との對立のあることに依つても、戰線の統一、無産政黨の大合同は、それは實に澎湃として大衆の意思となつて現はれてゐる。

吾々は「セヲチ」に反對して、無經驗で多少の過失があつても、若い黨員の殖へたことを祝福してゐる」ような日本のレーニンなどには用はないのだ。宗派主義の禍害を認めてゐながら、宗派主義を辯護するような日本のマルクスには他人であり度い。組合が分裂しようが、黨が攪亂されようが、實踐上のことは一切お構ひなしに、「對立は發展だ」「統一の前の分離だ」とのお題目を唱へて、福本宗の信仰に精進してゐる、本山の政治局の人達は、涅槃に入つて佛になり得る彌陀の御弟子であつて吾々は、それとはあまりにもかけ離れた無産階級と云ふ無縁の衆生であつて、現世に執着を持つ凡族である。

とは言へ吾々は、ブローカや乞食を行つて生きようと云ふのではない。階級協調と云ふ叩頭や押眠に依つて分け前を貰ふとするものではない。吾々は奪はれたるものを戰つて取り返そうとするのだ、階級戰線の陣營には、叩頭主義の押眠社交と、宗派根生は總禁物だ。而も前者を生むは後者あるが故である。此の兩者は常に、所謂「吾黨の精神」「吾黨の立場」と稱し社會民衆黨排撃、日本勞農黨排撃と云ふ無産大衆を眼中に置かぬ戸惑ひ誤謬を以て、ブルジョアジーに分割支配を恣に爲さしめてゐる。

大衆は戰線の統一を要望してゐる。

吾々は無産政黨の大合同を欲してゐる。

吾々は共同闘爭を展開しなければならない。

プロレタリアートは、所謂「吾黨の精神」「吾黨の立場」から脱却して、眞の「吾黨」を結成しなければならない。

吾々は眞の「吾黨」結成の爲めに、右翼と稱する、叩頭主義の押眠社交病者を健康體に恢復させねばならぬ。それには、これの病原菌たる宗派的分裂主義者を排除せねばならない。一度び乗り上げた暗礁は未だ存在してゐる。吾々は新らしき航路を選ばねばならぬ。

大衆は既にもはや、外科手術の爲めに劇藥とメスとを用意した。

吾々は既に新らしき航路を發見した。たゞ吾々に殘されてゐる仕事は、切開することゝ、舵を曲げることのみである。

——終り——

月刊
法律戰線
◇階級闘爭の合法戰術！
◇惡法令の突破逆用！
一部十錢・半年六十錢・一ヶ年一圓廿錢
發行所 東京・高田町雜司ヶ谷一一五 振替東京第三六四五五番

り以前のことであつて、國際戰後最初の革命派國際大會であると、今日も尚ほ青年共産同盟の誇りとしてゐる所である。そして同年十月三日(第一日曜)に第一回の反軍國主義の示威運動を行つた。(これ所謂「國際無産青年デー」の起原であつて、爾來毎年一回九月の第一日曜を以て之が行はれてゐる。)

しかるに其後、この運動の闘士が、しば〳〵投獄されたことや、匈牙利革命の失敗のために、餘り振はなかつた。しかるに一九一九年三月、共産(第三)インタナショナルが、成立するや、この青年運動に對して加盟を勸めて來た。そして同年十一月、伯林に於ける青年インタナショナル大會は、青年共産インタナショナルと呼ぶことになり、正式に共産(第三)インタナショナルに加盟することになつた。爾來、それは、コムミンテルンの青年部として、活潑なる活動を續け來つてゐる。

(附言) 次號には『共同戰線と諸分派』を講述するつもりである。そして其でもつて一と先づこの『インタナショナル小史』(國際勞働運動小史)を終るつもりである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

反動主義者の暴力に對する對策如何

袖山親義

維新の志士は京都の加茂川の砂原や五條橋上で新選組の獸と闘つた。歴史を創造するものは皆反動と闘ふべく運命づけられてゐる。吾々も又幾多の反動と戦はねばならぬ。

西郷長吉

戦ひとれ、戦ひとれ、これが諸君の使命だ、人の身は明日をも知れぬではないか、徒らに長らへるよりも××××××××、よしそれが小さき戦ひであらふとも、散りて歴史を彩る花となれ。

岡平一郎

坂本龍馬なきや、彼も維新を造りし一人である。

反動の壮士、それは資本家の軍隊である。支配階級の傭兵である故に彼等がわれ〳〵に戦ひを挑むは當然の事である。この戦ひも階級戦である事は云ふ迄もない幾多の先輩同志は彼等のために傷づき倒れた。今後も多いであらう生き残りて最後の名をとらんとする卑怯者があるから彼等に馬鹿にされるのだ。そんな勇氣のないものは口先計りで社會運動の邪魔者である。それがイツも無産者戦線にあらゆる害毒を流してこまる。兎に角大にやれ。

土倉正雄

われわれは彼等に勝つ事は歴史的に運命づけられてゐる。同志よしつかりせよ。

原弘造

彼等に遅れをとるな、諸君は世界の創造者ではないか。勇闘せよ。

中村高明

彼等に一歩も譲る勿れ。吾等の進出を妨害する一切のものは反動である。一切を戦ひとれ、戦ひはわれ等に勝利をもたらす。ちつぽけな反動の壮士の來襲の如き小戦も勇敢に戦へ、小さくとも戦ひは戦ひだ、大いにやれ。

山崎長一

即時即決。

徳田勇一

彼等に對するに、人道主義的愚論で暴に對するに×はいかぬと云ふものはマルキストに非ず、正當防衛ではないか。法律があるから官憲に取締らせよと云ふものがあるなら、それは大タワケ主義者。自からで護れ。大衆と共に守れ。ブルヂョアの××××××。卑怯者は引込め。

茅野琢也

暴には×をもつて報ひる外なし。即ち團體も個人も彼等反動ゴロの如く、つねに×××××××××××を用意し應戦して倒せ！このことは特に勞農黨評議會の腰抜け幹部共に勸告する。

山崎今朝彌

思想的に突撃を要する程の者が出た時は又其時の話今の反動團體など齒牙にかけるに足らず、只先方が得意の暴力で突撃して來た時は、斷乎としてやつつけるか又は奮然として逃げるかリンキ應變の處置をとる事也

中西伊之助

反動即亡國

一、對抗團體を組織することです。勞農黨が糾察隊を組織したるは現代法律も認容する正當防衛です。國家の法律が許すのだから農民自治會も在鄕軍人によつて農民自衛軍を組織します。

一、思想、根據は何も彼等にはありません。たとへばです。北原君を嚴罰せよといふが、彼等はそのために全國水平同人一千萬の××××××××××××。日本はそのために危殆に瀕するでせう。反動思想と行動は遂に國を亡ぼすものです。ロシア舊國家が滅びたのはボルシエヴヰキではなくて、ロシアの軍國主義者です。これは公平な歴史を知つてゐるものなら何人もうなづくでせう。

葉山嘉樹

日本の無産階級運動の前進を妨害し得る程の反動團體は未だ無いと思ひます。左翼の運動から、小兒病的な、指導者になるためにのみ運動に入つたと云ふやうなマルクスボーイが掃除されれば、そんなものとは充分に——今でもだが、——克ち得ると思ひます。

山田清三郎

あらゆる機會をとらへて、彼等の反動性を曝露すべきでせう。

それと共に、彼等の誤れる迷夢、それを覺醒せしむる努力を忘れてはならないと思ひます。

暴力化せるものに對してはやはり暴力を以て自らを衛ることが必要でせう。

新居格

反動主義者の暴力行爲にたいする對策は無政府主義者は盛岡に於ける經驗でハツキリ

決定したやうです。白色恐怖にたいする戰術はいくらもあらうと思ひます。これは時と場合とで一定時に云へないでせう。彼等の思想を解剖して指示する所があつてい丶と思ひます。

前田河廣一郎

單に反動的だと云つてのけるのは效果が薄いと思ひます

反動團體の暴力はいつも社會主義諸運動へは附屬物として歴史的必然性をさへ具へようとしてゐる現象。しかし主義を眞實に守護する精神ならば、その對策も自ら生れ出づることゝ思ひます。凡てに怖れざることです。

井原昂

反動團體の人足共は一擊を加へばヒツ込んで了ふ樣な奴だが、やゝ思想的な體系をなせる者は高畠素之、上杉愼吉、石川某、神永某等である。これ等の奴等に對しては遠慮なく地上より抹殺すべし。亦、彼等の著書を×××××××××××××××。

無產者新聞の如き、高畠の廣告を取つたと云ふ事は階級意識の淺薄なるものと云はざるべからず。朝の同志も反動となれば夕に敵とすべし。彼等は我等一箇の敵でなくして全無產階級の敵である。彼を叩き×す事は日本の階級戰鬪士の一大使命である。

横井知也

最近、赤尾敏などに日本の急先鋒である勞農黨が狙はれたといふ事は、左翼社會運動の巣窟たる勞農黨をして吾々地方の勞農黨員が味氣なく思つた。事務員の一人ぐらひゐる所へ入つて來てたゝかれたといふ事は、どうも仕方がないけれど×××しないのか。獸殺それは一つの逃げ言葉に過ぎない。

あんなヨタになぐりこまれて默つてゐるとまたあいつの樣な商賣人が現はれる。十幾万人の勞農大衆に一人の愛黨家なきか。攻撃〳〵

帆足理一郎

反動團體の暴力的行爲に對する方策

暴力行爲に對して暴力を以て報ひるは尙暴力の有效性を自認するもの、而して民衆運動が暴力を以てその正義を徹底せんとする間正義の勝利は望まれない。正義はあくまで正義の手段を以てその勝利を期せねばならぬ。故に暴力に對しては無抵抗であり、只常に彼等の反動思想に優れる大衆運動の正義を主張するが第一。理解に待たざる強制は人を心服させる所以ではない。

室伏高信

無視するより外なからんか

澤井龍之助

伊太利のムツソリニーが飛び出してフワーシズムの天下となるや、世界の政治、思想、藝術方面は次第に此の近代的世紀末的愛國病に浸み染めなされて來た。先づまつさに此のオツチョコチョイの多い我日本では建國會とやら云ふ團體が發生し、最近輸入のフワーシズム宣傳に日も是れ足らぬ有樣である。其の機關紙、否御用紙「日本一」は勞働、思想團體のスツパ抜や中傷なんかで返つて讀者に勞働、思想方面の知識を擴めてゐて與れる。有難い仕合せだ。而し、假りにも我々無產階級解放運動を妨害する限りは斷じて一歩も假しやくすべきに非ず彼若し暴力で來るならば須らく暴力で行くべしである。此の點、日本共產黨及福本イストの大言壯語幾何の價値あるや否や。

村松正俊

自衞隊を組織して對抗する外なし、思想には思想を以て、力には力を以て

高群逸枝

一、逆詐を以て當ること。例へば彼等は愛國を賣物にしてゐます。で、われらこそ最も國を愛する者であるとして、その理由を說明すること

二、彼等を曝露すること。彼等の愛國思想が、その實非愛國思想であるといふこと。彼等の義俠なるものが、その實非義俠なること。なるべく彼等の道德によつて分りやすく

佐久間並

「反動團體の暴力的行爲に對する方策」

積極的に彼等の思想、根據に向つて突擊せんとする方策は、過去の經驗に依ると、堅陣を張るよりも、暴力に酬ゆる暴力團體の組織對抗によるよりも、むしろ先つ彼等の團體中に、こちらから融け込み、彼等の思想や、研究や、娯樂や、祭事氣にしたりし乍ら事につけ折につけて彼等に現代組織の不適正を指摘暴露し、彼等自身の不正や、腐敗や、反抗、彼等陣地內での對抗作鬪に參加しつゝ各々の地歩を作り、同志と連絡をとりつゝ、彼等の根底にその倒壞を早めるクサビを打ち込むにある。此意味に於て吾人はすでに〇〇軍〇〇に入つて〇〇となり、あるものは△へ研究團體の一員となり、組合の頭腦たるべく目下□□□□して居る者もある。徒らなる外部的反抗作鬪によつて小兒病的の快を呼ぶよりも吾人のこの穿穴運動が有效に考へられる。

小川友三郎

我れ等無產階級全體は第一線に決死的青年前衛隊を組織し、積極的に彼れ等反動團體に向つてひをいとなむ。

一、日常鬪爭に於て彼等の罪惡や行動を民衆の前に暴露し彼れ等反動團の如何に罪惡をなしてゐるか、又は無產階級解放の爲に彼れ等反動團が如何に妨害をなしてゐるか、あらゆる機關をもつて發表し大衆の輿論を起すこと。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

二、反動團體の暴力行爲に對しては極力官憲に抗議し彼等の存在なからしむることをきする、暴力行爲取締法を利用して自由法曹團と共に彼れ等反動を

三、やつつけること。決死的青年前衛隊によつて彼等反動をこつぱみぢんにやつつけること、如何なる方法にてもかまわず戰ひ潰すこと。

中澤辨次郎

理論に行き詰つて暴力に訴ふる者が各所に横行して居ることを聞く。が如何に反動團體と雖も堅牢な組織を持つて居る組合の勢力範圍下に於いては、全然雌伏してその唯一の暴力も秘めて居る。從つて反動團體に備ふる最も手近な而して最も强固な陣營はよく統制されて一糸亂れざる組合の組織を固めるにあると思ふ。理論で來らず力で來るものに對時するには組織の力を以てするのが最も合理的である。打てば響く、押さばピンと撥ね返し得る緊張し切つた力のある所、其處には暴力團體も反動團體もない。力のバランスに依つて保たれる、滿を持して放たさる無浪無風の狀態があるのみだ。而も我等の手には社會正義に立脚した理論がある。何んぞ反動團體に怖れる要ありや。

岩崎正

反動暴力は××××××の必然の所産だ。徹底的に反動暴力を戰ひ潰すには徹底的に帝國主義を克服する以外にあり得ない。勿論、この暴力團に對抗すべく我等の陣營內に於ても××の組織化を急がねばならないが、それは決して大衆から遊離したものであつてはならない。

大衆運動の盾となり、矛となるべきもので大衆運動に伴ふ必然の勢ひからその組織が作り出されたものでなければならぬ。先づ民衆運動を捲き起すべくあらゆる戰術を規定せよ！ 大衆行動の前には嘵々たる反動暴力團は嵐の前の木つ葉だ。

中島安太郎

靜思せよ。而して味方の戰線を整理すべし。面白半分の與太者や一知半解の賣名の徒を列外に放逐し大衆的眞理の上に進軍の旗を樹立せよ。其體實行方法は今これを示さず。町奴對旗本、維新革命阻止運動者近藤勇、と云つた調子の國粹云々論者が、近來蠻人襯衣の眞似を得意になつてやりたがつてゐるまでだ。即ち日本の伊太利化を主張するものが增加して。田中首相などが、遠の昔にムツソリーニ崇拜演說をやつてゐると云ふ事それ自體が外來思想かぶれの忘國粹運動だが御本人は氣付かずにゐる。この程度のものは戰ひ潰す云々よりも時が自滅さすだろうが、眼前の暴行者に對しては容赦なく力でたたき潰す可きである。

布施辰治

最後の決勝戰に突進して來た階級鬪爭の戰線にいろんな反動軍の現はれ出る事に少しも不思議は無いが、只だ我が無產階級軍としては、どんな氣紛れな反動軍が現はれ出ようとしても、出られないやうに理論的にも實力的にも打倒して什舞ふ丈けの陣容を整へなければ爲らないと思ひます。

それについて、解放運動者各自の要意に覺悟すべきものは常に自らの生命を賭けた運動に參加して居るのですから、又常に反動の襲擊に對して徹底的正當防衛權を實行することです。

加藤勘十

質問に對する直接的回答としては反動的諸要素發生の社會的根據を究明し、反動諸勢力結成の限界を批判し、其の存在の過渡的現象に過ぎない所以を理論的に說明して未組織無產大衆、並に中間階級分子をして彼等の煽動的影響下から脫離せしめることに努力する事。更に具體的の問題としては彼等の暴力的行動に對しては彼等の暴力行使が彼等を自滅への道を辿らしめるものに過ぎない事を力をもつて識らしめることと

岡悌一

ドイツなぞで共產黨と反動主義者との爭ひは仲々激しい。時には死傷者を出す事はめづらしくない。ドイツの共產黨は眞劍味がある。日本の一部の主義者の樣に彼等××××××××はつまらぬと逃げ口上を張る連中とは異ふ。吾等の前途をさへぎるものは何者と云へども粉碎しなければならない。そこに階級精神の燃ゆるものがあらう。

富田定四郎

赤尾が勞農黨を襲つたといふ事は、初め四五日前からそんな宣傳して步いておつた。高畠の發案だつた。赤尾といふ男は氣の弱い男で、勞農黨へ勸告狀をもつて行つてそれで新聞宣傳をするつもりであつた。そして自分が和合クラブの入口にをつて、眞先に逃げ出して各新聞社へ電話をかけて、こんな事をしましたと云つた。

この事を某所の高等視察係が一人見て笑つてゐたとの話、警視廳はその日の一時頃初めて知つて、あはてゝ行つたとの話、これは某新聞記者が某黨で話した事だ。

赤尾といふ男は檢束されると青くなつて了ふ、暴力なんかそこらあたりの子供に劣つてゐる賣名心の非常に强い男だ。

高畠といふ奴は、國定忠次の出た附近で生れて、國定らしいところがあるといふのは、彼の乾分どもが云ひふらす事で、チットも國定らしくない。金を出す事は舌を出すよりいやがる。これは彼の乾分でさへ云つてゐる。原稿料を先に貰はねば、どうしても書かん。氣が小さいから、便所へ行くにもピストルもつて步

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

く奴だ。彼の資本論なんか誤譯ばかりでたいしたものではない、ムッソリーニを氣どらんとするけれども、おそらくクロシャツ隊の一兵卒にもなれまい。

中澤若太

反動團體の暴力行爲に對しては、只我等は彼等に對し組織的に徹底的に勇敢に戰ふのみ。

彼等は極少數の特權個人の利害擁護と彼等自身の享樂の爲の外には何ものもない。彼等が斯の如き行爲をなすことに依つて一般社會に大きい不安と動搖を與へる。國賊とは彼等の如き者を稱して云ふ。

一、九二七、一二、三

木下乙市

一、先づ暴力非難の輿論を起すことです。輿論が暴力を許容する間は其跡を斷つまい。必ずや糺察隊なるものも發達して無警察の狀態にまで進むであらう。支那と同樣に。

二、一般民衆は無產團體の出來事を對岸の火事視する傾向が拔けない。これは無產派の分裂と同志討が招いた反感でもある。故に共同の協議會を持つ事が強くなる道だ。

三、眼前の對策としては前衞隊の組織。

淺野研眞

反動團體の暴力行爲はまことに呪はしきものですが、之は結局一時的のものだ。大した「根據」のあるものとは思ひません。されば正面衝突を進み求めることは、決して上策とは思ひません。逆に同志の團結を強めるに努むべきでありませう。

（一九二七、十二、二）

片桐生

何れの國でも改革運動の前衞に妨害者の生れると云ふことは、必然的の產物で餘儀ないことであるが……而してそれ等妨害者に向つて、議論や說明は餘り效果はあるまいから、結局は臨機の處置を採るより外途はあるまい、言ひ換ふれば議論で來れば議論、腕で來れば腕と。

岡千代彥

暴力を以て暴力に酬ゆる事は不可であります、彼等の重なるものを征服するには美しい肉と、溫かいパンを與ふることが上策であります。何となれば彼等は餓えて居ります。

西納楠太郎

お答え!!

反動主義者の續出は、續出するだけの社會的條件が備はつてゐるものと思ふ。だから單に、彼等を、戰ひ潰さうとしても、彼等を發生せしむるに到つた當時の社會制度を變革するにあらざればどうすることも出來ぬ!!

反動主義を克服するにはなほ吾等は勇敢に統一戰線をつてブルジョアと專制勢力との同盟軍に突進することである。

高島米峰

暴力に對するに暴力を以てすれば、遂に底止するところを知らず、相手にならざるに如かず、無策を上策とす。

高市盛之助

反動主義者發生の根據はどこにあるか。彼等は、帝國主義、軍國主義の一時的寵兒に過ぎない。

これはプロレタリアートの力によつて絕滅さるべきであるが、我々としては、我々の陣營內に自衞團を組織して之れに當るより外に方法はないであらう。大衆的な自衞こそ無產階級の執るべき唯一の途である。

松谷與二郎

こんなものはうつちやつて置けばよし、相手にするから惡い。況んや對等視して爭ふが如きは愚の骨頂である。それよりも官憲に對して抗議し糺彈すれば可なり。

加藤龍一

古古屋に一人のヨタリストがあつた。それが赤尾ビンといふ商人の子であつた。親は岡谷といふ鐵屋に勤めてをつた。これもビンに負けず劣らざる賣名家であつた。大正十三年の頃から、名古屋の社會主義者仲間に入り、進め社支局をさせて貰つて、山崎常吉、三好覺等を集めて、賣名專門にしてをつたが、進め社紙代を百何十圓溜めて除名され。それから中部勞働評議會に入り、愛知電氣時計會社の社長を恐喝して一年半の刑に處せられた。監獄に入る事が恐ろしくなつて日蓮宗のクソ坊主本多千太郎の所へ泣き込み、裁判所に本多千太郎から今後社會運動に一切入らないといふ條件を持ち出して穩便に、二審に執行猶豫して貰ひ、松坂屋呉服店の前で殊勝らしく木魚を叩きザンゲの樣な眞似をし、名古屋見物の田舍おばさんが一錢づゝあたへた錢が四錢あつた。その後親の妾を摘みおりしがその妾が某と京都に逃げて了つた。赤尾は[illegible]京都クンダリ迄行くその女の頭髮を切つて連れて歸つたが親父曰く「ビンよあの女が欲しけりやお前にやる」と云つた。ビンもこれを貰はなかつた。その妾は即時、親子から放逐された。五六年の間女中で、出る時には金を一圓貰つて出た。

そこらあたりが赤尾父子の商賣人たるところである。それから名古屋におられなくなつて東京の日暮里へ親子夜逃げして了つた。その後建國連盟といふものが出來たといふ事が新聞に出てをつた。上杉愼吉といふ男は甚だ剛慾な男で、赤尾が新聞記者や彼の友人に話してをつた。その後今の住居三河島に移轉した。會員はビンと父と弟ともう一人ぐらひなものだ。勞働人を雇つた時も日給二圓で人足をやとつて行つた。これが赤尾ビンの正體だ。後の糸

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

を引く者は高畠素之たるは云ふ迄もない。高畠の不良少年なりし事は世間周知の事、同志社にありし頃丸善の京都支店から本をカッパラッタ事は例の遠藤友四郎が全國に云ひふらしてゐるから間違ひはない。

飯野狂生

眞に無產階級の解放を希ふの士は

俺こそは社會改造の戰線に立つ闘士なりとの英雄主義を捨てて最も無智なる彼等反動集團へ潜入して常に中堅分子に對しプロレットカルトを行ふ事

無產階級戰線の攪亂を社會運動なりと心得る奴は反動主義者よりもにくむ可き奴なり

亦無產階級の代表を以て任ずる者反動暴力團あれば正義の武力團を組織せざる可らず而して面倒なら片端からアマカス事身を捨てゝこそ浮む世もあれと云ふ事もあるから一寸思つた迄回答す

池尻[illegible]

無產運動の眞使命に生死し得る人間の「力」は何者をも恐るゝに足らない。所謂國粹主義者と云ふ反動ゴロ共は結局支配階級の權力を背景に資本家の番犬をつとめるウジ虫だ。

勞働組合と農民組合及無產政黨の確實に組織されてゐるところは、各青年の前衛闘士を集めて暴には×を持つて彼奴等を叩き潰すべきだ。

吾等は機會ある毎に彼奴等の內面的醜惡と番犬的腰拔ぶりとをキダンなく勇敢に曝露して全無產階級の反逆心を高調せしめなければならない。

鈴木楯夫

反動運動の中で、我等無產運動者の一番警戒せねばならぬ點は、愛國の假面を冠つて來ることだ。愛國といふ言葉は無教育な者ほど盲目的に動かして行く。であるから、理論をもつてこの點を突き破らねばならぬと思ふ。そうするには、今日の反動運動、ことに愛國的言辭を弄ぶところの反動運動が、結局に於て資本家制度の擁護に陥入るものであつて、決して日本國家の‖‖多數の無產者に依りて成立する‖利益幸福でないことを力說するがよいと深く信ずる。彼れらの暴力のごときは、彼れ自ら墓穴を堀るものとして打すてをらばよい。

佐藤義和

彼等反動主義者に理論も、思想もあつたものぢやない。彼等は專制的支配階級の傀儡にすぎぬ。

從つて、積極的に彼等の思想、根據に向つて突撃せんとするなど愚の骨頂、況んや、これが防禦に、彼等と同じ穴の官憲等を頼みとするの迷妄なるに於てをやだ。たゞ、吾々には自衛あるのみ。彼等反動の襲撃に對し、徹底的、正當防衛權の行使による自衛的組織と行動あるのみ。

北口勝三郎

×××××××××××全無產階級がボイコットせねばならぬ、かの××の如きは反動の養成所である。いやしくも共產主義者たるものは××××××××××××××。

ドイツの共產青年は何をしたか、

フランスの青年勞働者は何を爲したか。

彼等は勇敢でありし事よ。

片山貞二

勞農黨よ、日勞黨よ、評議會よ、組合同盟よ、立つて白色の壯士を打て。

德田久一

高畠が調子に乘るのは堺利彦君や安倍磯雄君達彼等をもち上げるからだ。勞働黨員と自稱する利己者は社會主義者なりや。君八方美人主義、金ため主義、君もまた反動的傾向多し

橋浦德夫

いやしくも共產主義者たるものは、思想を異にするものに向つて敵意をもたなければならぬ。この敵意こそ、階級意識の發露でなければならぬ。反動主義者高畠と酒食を共にし、政友會幹事長小泉策太郎と交遊するが如きは、吾等青年勞働者の解する能はず。

安部の如き堺の如き過古においては多少の役に立ちし事あるも現在において邪魔者と云はねばならぬ。

富岡光

戰場に××をさらす事によりて解決す即ち暴に對する×だ。

死せよ、××を飛ばせ人柱を埋むる事によりて彼等を克服する事が出來る!!

上毛印刷工組合

暴には×を以て報ひむ吾等は凡ゆる手段を以て戰ふ此の意味に於て貴會之主意に贊成す。

椎名重鶴

思想の動きは、權力でも暴力でも阻止し得ぬものである以上、反動的勢力は歯牙にかける必要は認めぬ。○○○の彈壓と反動の妨害は無產階級の進路にはつきもの、彼等の從前には目立つた理論的根據を持ち合せないのが常だ、從つて何等の對策も考へて見ない、強いものは取つちめるもよし、弱いものは避けるもよい、それが消極的のやうで積極的な戰術です。

佐根閑

どをせ扇動師の群だ。如何にそんなのが續出しようと我陣營は微動だもしないことは明かな事實であるが。人類愛の意味で多く彼等と接觸して、街頭の現實を知らせ人間性を甦へらすことだ。而し強いて不穩行爲に出づればいつまでも寛容では居られまい。暴對×で解決するのみ。要するに頑迷な彼等の職業的稼を笑殺する、やがて自ら消えて無くなる泡沫だから眞理の前

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

には何物も消ゆることは必然である。

松坂由太郎

拝啓

陳者去月當地に黑色青年の演説ありしとき横暴なる官權の不公平の爲辯士四五人國粋會々員に毆られ聽衆皆官權の横暴をののしり大混亂したる事件あり彼等の暴壓の前に何物もきかざれば止むを得ず我等の敵に對して決死隊を募りて之を對抗する外に道なしと信じ先づは御奮闘を感謝致し候　敬具

加藤今一郎

吾人は前人の語をその儘反覆す。力を以て來るものには力を以て抗せよ、鬪爭か死か血みどろの戰ひか。然らずば無か。問題は不可避に課せられゐるのである。

牛窪生

理論鬪爭の時代劍劇的遊戯を廢しあらゆる情實を超越して無産政黨の合同を策し名の如く大衆を以て階級戰を實體化す可し

水野貝三郎

國粋團體と云はず吾等無産階級の進路を妨害せんとする、在郷軍人團、消防組、青年團の諸反動團體の正體を、アラユル機會に於て大衆の目前に『バクロ』宣傳すると同時にそれ等の反動團分子を吾等の陣營内にかきとり、反動團體をして、無産全大衆の自衞團化す爲に吾等は努力し、勞働者農民小市民の全無産大衆、自分自身により强固なる、自衞團を組織するが急務であり、かゝる事により、自己階級を守る、眞の被壓迫大衆衞軍たる戰鬪隊となる組織軍が生れる專制勢力と鬪爭なす時、專制權力反動暴壓的諸團體は吾等大衆の前に消滅するであらう。

久米萬平

國粋主義者が、ブルジョアの御手先棒であることを民衆に理解せしめることと民衆に自覺を促す爲には演説會及集會等に彼等の行動及思想が如何に不堅實なることを『アバキ』民衆の輿論を喚起しつゝ然る後彼等の罪惡をポスター宣傳機及新聞等で攻擊する事が良策かと思ひます。

堀英俊

「×には×を、×には×を」

暴力に對抗するものは、暴力に非ずして何か！彼等反動團體に一貫する思想があるならば、理論鬪爭もよし、指導教化も役立つが、彼等の根據が『金力に依つてのみ動く』餌につく犬の他の何ものでもないのであるから、對策は飽く迄も力對力であらねばならぬ。力の强いものが勝つのは鬪爭の鐵則だ。

思へ！自己の利益擁護の爲には××に等しき行爲を敢へするブルヂョアジーは從來無産者をそれのみによつて押へ來つた人道主義的道德の自縛によつて現在は自分を背後にかくして只手先のみを作つての反動戰に甘んじてゐる形だが、一朝歴史的に證明する彼等の斷末魔に於いては、あらゆる假面を捨て一大反動化するは言を待たないであらう。

今にして備へよ力には力だ！　無産者は愈々團結を固めよ、彼等の切崩し策に乘つて分散するな、一致して共同の敵に當れ、我等の中の一部の力を割いてそれに備へよ。重ねて云ふ力には力だ！兄弟よ力と×を持つて無産運動の前進を安からしめ様よ！

反動團體よ、跋扈せよ、歴史を逆行出來るなら押して見よ！未來は明かに我等のものだ!!　あらゆる權力、國家機關を背景とするは汝等の自由だ。だが『殺されるものは遂に死せず』だ。（不備ながら質問に對し右御返事迄）

山川秋水

吾人の行路、人ふるれば人を×り、馬ふるれば馬を斬るべし、小なる反動のゴミ小僧と云へども用捨すべからず。

田内幸七郎

反動と云へば支配階級が一大きい反動である、所謂反動團體は薄弱なるもの、相手にするは不足千萬なり、それでも邪魔になる時は蹴倒すべし。

山田修

無産運動の鬪士にして力の勝れたるもの多し、彼等と小兒の如く爭ふは欲せざる所なりと雖も妨害する時は即時擊破せざるべからず。

高田清兵衛

飛び來る蠅は汚穢にして幾多の害毒を持つ、故に吾等はこれを打ち殺す、蠅は生殺しにすると生きて再び害毒を付け廻はる、息を止むるがいゝ。

山口安太郎

暴に報ゐるに、人道主義をとらざるも吾等は××を容認する。

鳥山潔

×××××××××

藤田涙人

明治維新の際、徳川幕府の番犬をして居た新選組の近藤勇が、愈々斷末魔の首の座にすへられた時『時勢を知らぬ猪武者』と云ふ嘆聲をもらして居る反動團體の壯士が五十人や百人騷いだ所で世界の大勢を動すことの出來ぬことは判りキツたことだ。彼等の中にはよく承知して居りながら金儲けのためやつて居る者もあるが中には全く無智の結果盲從して居る者もある。前者は○○○○の外はないが後者は機會ある毎に教へる必要があると思ふ。此際積極的に出ることはよくないが官憲の取締が賴むに足らぬとすれば、正當防衛上止むを得ない

勞働運動講座

國際勞働運動（四）

淺野研眞

第五章　第三インタナショナル

一、序説

第三インタナショナルは、一九一九年三月を以て、モスクワに成立した。それは世界大戰の穩和社會主義と愛國社會主義とへの反抗として、諸國に共産黨の組織を唱道せしめ、破産せる第二インタナショナルの上に、眞に力ある全世界的勞働大衆の統一組織を現出せんとするにあつた、即ち第三インタナショナルの使命は、マルクス主義原理を、實踐的に現出せしむるの運動であつて、云はば『行動の共産主義』として生れ來つたものであつた。

全く第三インタナショナル創設の主腦は、レーニン其人であつた。彼は冷罵して曰ふ、破産せる第二インタナショナルは、死に瀕してゐる。そして未だに死に切れもせぬのに頽れ切つてゐる、と。尚ほ難じて云ふ、社會黨員は資本家と安協してゐるが故に、今度我々は無産階級の獨裁を實行した。ロシア政府は、モスクワに、共産主義第三インタナショナルを設置して、共産主義宣傳運動の中心となる、と。

全く世界大戰の勃發は、國際心と愛國心との鬪爭を來たさしめ、ために第二インタナショナルの破産を宣告せしめた。しかし其れはインタナショナル全體の死滅と見るを得なかつた。即ち非戰論は實に各國の社會黨の口を突いてほとばしり出でた。

大戰當時に於ても、中立諸國の社會黨員は、運動を持續してはゐたが、それは極めて微々たるものであつた。かくてレーニン等によつてロシア革命が成就された時から、インタナショナルの運動は、眞に偉大なる母體を得るに至つた。かくて成立した第三インタナショナルは『カウツキイを主とする第二インタナショナルの僞造され軟和されたマルクス主義を、その眞相に還元せんとする』（レーニン『國家と革命』）の新運動となつたのである。

二、成立過程

（一）大戰當初の形勢

世界大戰の勃發するや、非戰主義に立つ社會黨員は、盛んに文筆により、また實際運動により、ブルジョア戰爭の否定を宣傳した。これ、やがて第三インタナショナルの組織へと向ふ必然的傾向であつた。かくて各國の社會黨をして國際的關係に結び付けやうと最も努力しつゝあつたのは、伊太利と瑞西のそれであつた。伊太利が、此の運動に盡力し得た理由は、此國の戰爭に參加したのが、他國よりも遲かつた爲めであつた。

即ち一九一四年九月二十七日、伊太利の社會黨員ラッアリー、モデリアニー、モルガリー、及び瑞西の社會黨員グリム、ネーム等は、ルガノに會合した。この會合は、瑞西社會黨員が主となつて、交戰諸國及び中立國の社會黨員を戰前の關係に復活せしめんとの目的を有してゐた。

次いで一九一五年二月、白耳義のバンデルベルトの發議の下に、第一回の聯合國側の社會黨會議が敦倫に開催された。その時の宣言中に曰ふ、歐洲戰爭の深い原因は、社會主義が此れ迄戰つて來た殖民政策と帝國主義が互にせり合つた產物であつて、各國政府はお互にその責任を負擔すべきである、と。

この間に於て、伊太利及び瑞西の社會黨員は、ルガノの決意を益々強くし、モリガリーは一九一五年四月十四日、巴里にバンデルベルド及び佛國社會黨の有力者と會見したが、多くは此れを裏切つた。かくて一九一五年五月十五日には、忠實なる分子のみを糾合して、ボロニア會議が開催さるゝことになつた。この會議に於ては、御用社會黨に反抗して、國際會議を開くことを決議した。かくて七月十一日には、ベルタにその準備會議が開かれた。この準備會議に於ける伊太利及瑞西の社會黨の意志は、新なインタナショナルの設立を主張はしなかつたが、先見の明のあつたレーニンは既に此の時に於て、第三インタナショナル設立の要を認めてゐた」

（二）チムメルワルト會議（一九一五年）

かくて一九一五年九月五日から八日にわたつて、瑞西のチムメルワルドに於て、國際社會黨會議が開かれた。この會議は正しくインタナショナル新生の叫びであつた。

この會議は四日間、會合を續けたが、その間非常に打ちとけて論議された。そして次のやうな宣言（トロツキイ起草）を發表した。

『あらゆる手段を以て平和を告ぐるといふことは、最も緊要な、且つ高貴なる世界有史以來の一大任務である。今、吾人の任務は、それを、遂行するにある。この目的、即ち人民間の平和を回復させるには、又とない犧牲と、又とない重荷とを負ふ覺悟が必要である。勞働者よ、女工よ、母よ、父よ、寡婦よ、孤兒よ、負傷者よ、廢人よ、戰爭の結果、並に戰爭のために苦しむ凡ての者よ、我等は汝等に絕叫する。國境の上に、戰場

の上に、侵蝕されし田野及び都會の上に、萬國のプロレタリアよ、團結せよ。」と。この宣言に署名したものは、全委員三十七名の中、十九名であつた。勿論、その中には、レニンの名前も讀まれた。

(三)キエンタール會議(一九一六年)

チムメルワルド會議の後、六ケ月を經て、一九一六年四月二十四日から三十日にかけて、同じく瑞西のキエンタールに於て、チムメルワルド派の第二回會議が開かれた。

この會議の目的は、平和のための行動であつた點に於ては、チムメルワルド會議の主眼とした所と等しい。しかも其れに比すれば、その檄文は稍進歩してゐる。即ち此の度びは、即時休戰、即時豫算拒絶、戰爭の社會及び經濟狀態に及ぼす結果に公然と戰ふべし、等々々となす點に於て、一段と進歩を示してゐた。

この會議に集つた代表者數は、全部で四十四名であつた。

このキエンタル會議は、チムメルワルト會議を承認し、眞の平和は社會主義實現の結果によるものなるが故に、プロレタリアートは決定的に資本主義と闘はねばならぬと主張した。この點に於ても、この會議は、前年のチムメルワルド會議の宣言よりは、一歩を進めてゐるものであるこの會議には、レニン自身は出席しなかつたが、彼れの力說せる新インタナショナルの創設の必要は、多くの承認を得つゝあつた。尚ほ此の會議に於ては、その行動政策に對して左右兩黨を生じて居つたことを注意すべきだ。

(四)ストックホルム會議(一九一七年)

次年一九一七年九月十二日、ストックホルムに於て、チムメルワルト派の第三回會議が開かれた。上述の如く、キエンタル會議に於ては、その行動政策に對して、明かに二派を生じて居たが、その左黨は、右のキエンタル會議に於てこそ未だ小數であつたが、このストックホルム會議に於ては左黨の主張が多數を占むるに至つた。しかるに其後二ケ月を經て、一九一七年十一月、革命がロシアに行はれ、事情が、ボルシエビキをして活躍の時代に到らしめ、チムメルワルト派は茲に彼等の綱領の實踐化の運動に向つたのである。

三、その成立

チムメルワルト派のストックホルムに於ける第三會議の二ケ月後、ロシアに於ては、第二革命(ボルシエビキ革命)が、勃發した。左黨の社會主義者等は、熱情を以て、この革命を應援したが、各國のシヨービニスト等は、猜疑と偏見との眼を以て此れを迎へた。

ロシア革命の成功を見たるチムメルワルト派は、愈々その革命主義に立脚する新らしきインタナショナルを創設せんとした。

かくして、一九一九年三月二日から六日にかけて、第三インタナショナルの創立第一回大會が、モスクワに於て開かれた。(第二インタナショナルは、この一ケ月以前に、ベルヌに復活の叫びを擧げてゐる。)

この會議の首腦者は、レニンを筆頭として、トロツキイ、ジノビエフ、等等で、彼等は第三インタを組織するの裡由として、その提案第三項に於て述べてゐる所のものは、較も鮮明に彼等の態度を示してゐる。曰く『モスクワ會議に於て第三インタを成立せしめざる時に於ては、共產黨は一致を缺くの感じを與へ、その立場を薄弱にし、反て各國のプロレタリアの曖昧分子の混同を增大するものである』と。

尚ほレニンは之を跡づけて『第三インタナショナルとその歷史上の地位』に於て云ふ

「第一インタナショナルは、世界プロレタリアートの社會主義のための鬪爭に基礎を與へたものだ。

第二インタナショナルは、諸國の運動が廣汎に大衆的に擴大するための地盤を用意した時代だ。

第三インタナショナルは、第二インタナショナルの事業の果實を繼承し、その日和見主義的、ショービニスト的、ブルジョア的、小ブルジョア的の廢頹を芥除し、プロレタリアートの獨裁を實現し始めたのだ」

四、その展發

一九一九年三月、モスクワに成立した新生の第三インタナショナルは、勞農ロシアなる有力な地盤を有し、あくまでも力強き發展の道を辿りつゝある。

即ちそれは、一九一九年の創立大會を第一回大會とし、爾來毎年一回づゝ、その大會をモスクワに於て開き來つてゐる。

今後、この第三インタナショナルこそ、インタナショナルの正系として、將來に向つて發展するであらうと思はれる。

尚ほこの第三インタナショナルは、一名、共產インタナショナルとも云はれてゐる。そして又、それを略稱して、單に『コムミインテルン』とも云はれてゐる。

五、靑年共產インタナショナル

靑年勞働者のインタナショナルを組織せんとする運動は、既に二十世紀の初頭からあつた。そして此の運動に最も熱心であつたのは、カールリープクネト、ルドヰヒフランク等であつた。彼等の努力の結果、一九〇七年、シュットガルトに於て、靑年社會主義者インタナショナルが、組織された。そして、その目的は、靑年勞働者の教育と、經濟鬪爭とが、その主なるものであつた。

(二十頁へ)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

創作

狂女と看護婦

吉田金重

『ちよいと〳〵、ちよいと看護婦さん、看護婦さんてばさ……』

鐵窓のうちに呼ぶのは、まるで繪に書いた幽靈のやうに、頭の髪をさんばらにふり亂した、蒼白い顏の小さい女患者である。つい二三日前のこと、警察署の保護のもとに、この癲狂院に囑託された、家もなければ身よりとてもたない、姉らしい女の名前を呼びつゞけて、街から街へと探し求めるかのやう彷徨する、やつと十五か六になつたばかりの、いたいけない哀れな狂女である。

しかし更け行く夜半、しかもこの癲狂院ではもつとも奥まつた、まるで牢獄のやうな監置室の中からである。小氣味悪にも振り返つた看護婦は、

『なんですか？ もうお寢みなさい、今夜は晩いんですから……』と、にべもなく行き過ぎやうとする。

『あの看護婦さんは、どうしてあんなに突慳貪なんだらう、どうしてあんなに素つ氣なくするんだらう？ 妾しのいふことはちつとも聞いてくれないで……』と、狂女は怨めしくも、なほつゞけて、いや、前よりも大聲に『看護婦さんてばさ、妾し、妾しお願ひがあるんですの。』

『だつて、今夜はもう晩いんですから、明日になさいよ。』

『明日にされるくらゐなら、妾しなんでこんなにお願ひするもんですか……』

『おや、お願ひつてなんですか？ 早くいつて御覽なさい……』

狂女らしくもなく、道理ある悲しげな聲に、さすがの看護婦も心を引かれて、踵を返さない譯にはいかなかつた。まつたく夜の癲狂院内は靜かな上にも靜かに、そして精神に異狀のある患者達を安らかに眠らすことになつてゐたから。狂女はこの時、急に嬉しくなつた嬉しくなつた。狂女は、

『こんなところにこんな鐵の窓がなぜあるんだらう？ こんな鐵の窓さへなかつたら、あの可愛、そして氣高い看護婦を思ひ切り抱きしめて接吻し自分の嬉しさ、悲しさのいひ知れぬ氣持を愬へようものを……』と、胸はひし〳〵と迫つた。それもならない狂女は鐵窓にしがみつき、高く吊るした薄明るい五燭光ばかりの電燈に、看護婦の細面をすかし見ながらも堪まらなさそうに

『ね、ね、ね看護婦さん、あなた妾の願ひを聞いて下さるのね、それやきツと聞いて下さるわ……』といつたかと思ふと、さめざめと泣き入つた。

『まあ、なんて人だらう？』と、看護婦はあつけにとられあなたはどうしたつての？ 泣いちや分らないぢやないの……え、泣かないでね……』

『え、え、え泣きやしませんわ、泣くもんですか……』

『さう〳〵、泣いちやいけないわ、泣かずにいつて御覽なさいね……』

看護婦はしんみり、鐵窓の外にぴつたりより添ひながら、狂女の顏を見入つた。看護婦の眼には、そして氣持には自分らが看護する患者狂女はゐなかつた、たゞこの世の中でもつとも哀れな。人間らしい相愛の對照のみがあつた。

『ね看護婦さん、妾しの姉さんはどうして家出しなきやならなかつたんでせう？ どうして行かなきやならなかつたんでせう？ そして今頃はどこへ、どこへどうしてらつしやることでせう？ お父さんやお母さんの死になつたのも知らないでさ……』

『えツ、なんですつて？』

狂女の、あまりにも訝しげな愬へは、看護婦の傷いた胸をとろかした。さツと、紅に染まつた顏を背けながらも、看護婦はなぜか、だち〳〵とよろめきさ今にも倒れさうになつたのを、やつと踏みこらへた。狂女はしかし、

――そんなことには頓着なく、うつとり何物かを見入りながら、切なる願ひを打ち明けた。

『妾、妾、どんなにか〳〵姉さんに會ひたいの、死んでもいゝから姉さんに會いの……さうだわ、姉さんだつてどんなにかして、妾に會ひたがつてらつしやることでせう？ 看護婦ねさん、どうしたら姉さんに會へることでせうね？』

『さあ、どうしたら姉さんに會へることでせうか？』

看護婦は、狂女の顏を見入りながら、溜息とゝもに繰返した。

『ね看護婦さん、どうしたら姉さんに會へることでせう？ どうか教へて頂戴よう……』

『だつて、だつて妾にや分らないわ……それにしても、あなたの姉さんはなんて不幸な方でせうね、お父さんやお母さんの死くなつたのもお知りにならないなんて……』と、看護婦はそれがまるで自分のことかのやう、憂はゝしげに小首を傾げ『それで、あなたの姉さんはどんな方なの？ どうして、いつ頃家出なすつたの？ お故郷はどち、お名前は……』

狂女はなぜか、それには答へやうとはしない、答へやうとはしないが慨し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

さうに、恍惚と離く眼に映つたのは看護婦とは似ても似つかはしからぬ、六七年も昔に別れたまゝの姉の姿である、いや、顔である眼である唇である。

「さうよ／＼、きツとさうよ、姉さんだわ、姉さんに違ひないわ……姉さんあんたはいつの間に癲狂院へ來て看護婦におなりになつたこと？ え、姉さん……」

「まあ、あなたはなんてことを仰しやるの？」

「駄目よ／＼、どんなに嘘吐いたつてもう駄目よ。あんたが姉さんであることにちつとも疑りはないんですもの、妾ちやんと覺えてゝよ、あれあの眼、あの唇おほゝゝゝ」

狂女は指しながら、小躍りして喜んだ。

「…………？」

看護婦は、あつけにとられながらも、また惑つた。

警察署の保護のもとに癲狂院に囑託され、しかも隔離室にまで閉ぢ籠められなければならないほどの狂女──だがその狂女も看護婦──彼女にとつてはたゞの狂女ではなく懐しい、親しみのある乙女に變つて行くのをどうすることも出來なかつた。まつたく彼女にも、この狂女と同じ年ぐらゐの妹があつた、そして、その妹がどこでどう暮らしてゐるかと思ふと、狂女のかりそめの言葉も、かりそめではなかつたのである。いや、もしかしたら狂女は、たゞの狂女ではなくて自分の實の妹ではないか？ など、あられもせぬ疑念さへ、頭の中で渦をまいた。

さうだ、彼女がなんの考へもなく、たゞ美しい、華やかな女優生活に憧れて、故郷の父母や、妹を捨てゝ上京したのは、やつと高等小學を卒へた頃である。一度、悪魔のやうな男の誘拐のために、あはや再び人生の明るみを見ることさへ出來ないところに陥れられやうとしたのを、危くのがれた彼女が上野公園の樹蔭にたゞづみ、途方に暮れてゐるのを救つてくれたのは、ある大學生であつた。大學生は一時、彼女を本郷根津の自分の下宿につれ歸り、親切に面倒を見てくれた。が、ある忌たまはしい事件──それは彼女がたう／＼、大學生と戀に陥り、遂には姙娠さへしてしまつたのである。しかし、姙娠した彼女は、大學生には用がなかつたのである。いや、大學生はその兩親のすゝめで、ある實業家の令嬢と結婚してしまつたのである。事情を愬へてカフェーの女給に住み込み、生れた兒を大學生の兩親に引きとらした彼女はもう、カフェーからカフェーへと渡り歩く、不良少女になつてしまつたのである。しかし、彼女は新らしく甦らずにはゐられなかつた、生きずにはゐられなかつたのである。時たま／＼あの震火災に遇つて故郷へ歸つた彼女は、こゝにも一つの隧道を見た『まつたく故郷には家もなければ、父母や妹さへゐなかつた。一家を擧げて東京へ引つ越したまでは知れたが、それも震火災の前のことゝて、今は生死さへ不明であつたので再び東京へ舞ひ戻つた。彼女が、この癲狂院に見習看護婦として入つたのも、誤つた過去を捨てた悔悟の生活への第一歩であつた。それにしても、彼女がまづ明かにしなければならないのは、父母や妹の所在と消息であつた。ところが今夜も今夜、今思ひもかけない狂女の呼びかけた姉──。

『ぢやもうかくしたり、嘘を吐いたりしませんわ、妾ほんとうにあなたの姉さんよ……』

看護婦は、双手を鐵窓のうちに差し入れ、彼女の手をしつかり握りしめながら、しんみりといつた。しんみりと──だが狂女に向つて、なんといふ大膽な言葉であらう、またそれをもどうして、一時のがれのいゝ加減な言葉をもつてすることが出來やうぞ！ たゞ新らしく甦らうとする、彼女の熱い心臓の鼓動でなくてなんであらう？

『あゝ、あんたは姉さん！ たとへ姉さんでなかつたとしても、姉さんになつて下さるといふことは、どんなに嬉しいことでせう！ 妾今まで、どれだけその優しい、懐しい言葉に飢えてゐたことでせう！ 妾し狂つてまで、死ぬまで求めてゐた愛──その眞の愛がこの癲狂院の、もつとも悪症な患者の閉ぢ籠められた隔離室の中で得られやうとは……』

狂女は鐵窓を距てながらも、看護婦の胸に顔を埋めるやうにした。看護婦はまたひしと、狂女の身體を抱きよせながら、

『妾し、あなたの姉さんになつたからには、もう永くこゝへは置きません、すぐにも出して上げますよ……だつて、あなたの病氣はもう快くなつたんですもの……』といひながら、衣嚢から隔離室の鍵をとり出した。

この時である、宿直醫の巡視であらう、廊下を踏みしきる、靴の音がカタコト響いて來た。しかし、看護婦はそれも聞えないかのやう、ガチヤ／＼ギーと隔離室の扉を開くと、急いで狂女をつれ出した。

間もなく二人の影は──狂女と看護婦の姿は、やゝ西に落ちかゝつた月つ冴え／＼とした光を斜に浴びながら、癲狂院の建物を離れて、はるか彼方の郊外の畦路をたどつてゐた。

──おはり──

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

團結せよ

鈴ケ森より

■世が凋落すればする程、反動の弱虫共がのさばり出して來る。本社は、この弱虫奴等を木ッ葉微塵にたゝき潰すために窪田氏を初めとして、一同、屁の術を學んでゐる。

■窪田氏の說に依れば、これ程有效なものはなく、銃であらうが、槍であらうがとても屁にはかなはないそうである。

■この屁の術が完成した曉には、我が進め社は、隊を組織して反動撲滅の急先鋒にならうとする計劃である。

■本社が、新春早頭、反動に對する方策を問ふたのも、奈邊に意義がある(上杉)

■本年は、愈々總選擧だ。

■或は議會解散となつて、それ以前に總選擧がやつて來るかもしれぬ。

■何しろ、支那問題、地租移讓、小作創定案等といふ難物がひかへてゐることだから……。

■野黨が不信任案を出せば、與黨は解散と來る。兒雷也と太蛇丸の忍術くらべといふかたち。

■無產政黨は、しつかり褌をしめて、かゝらずばなるまい。(神崎)

■十二月は、とても忙がしい月だつた。

■無產政黨の大會が一つぺんにやつて來たり、印刷屋から原稿の催促をされたり眼の廻る樣な思ひで、やつとこさ、と編輯を終えた。

■而し、忙がしかつたのは我が進め社ばかりではあるまい。

■無產階級の運動のすべてが、忙がしかつたわけだ。政黨の統一、合同、の問題にからんで、この忙がしさが遂いに本年に持越されて仕舞つた。

■而し、無產大衆は、心から戰線の統一を望んでゐる、また、それ程無產大衆は慘めな生活の行詰り方をしてゐる。

■兎に角、大衆は闘つて勝たなければ死ぬのである。死か、勝利か、この實際の現はれが、無產階級の戰線統一の要求である。

■政黨の幹部諸君が、あまり理屈ばかり並べてゐると、大衆は置去りにしてどん〳〵行つて仕舞ぞ。(佐藤)

■我が進め社には、可愛い兒犬が三つゐる、皆ブルだ。その他に大きなブルが二匹と、乳母犬が一匹、全部で六匹だ。

■今までゝさえ警察の犬共は横つ飛びに逃げ出したものだのに、ブル六匹にかゝられちや、どんな豪傑でも顏色なしだ。

■愈々戰鬪準備はなつた。反動の乞食野郎、いざ參れッ。(日當)

■愈々昭和三年を迎えて、世は益々不景氣のドン底へ沈んで行く。

■本社同人は、讀者と共に、新たなる計劃を展開する第一步として、この新年を祝福したい。

■資本家階級は、やつぱり門松を樹てて無運長久を祈るであらうが、我が無產階級は、組合旗、鬪旗を高く揭げて、資本主義の倒壞を叫ばなければならぬ。

■無產階級諸君、益々自重せられよ。

(同人一同)

進め社本部取次書目

(壹部壹圓)

青野季吉 解放の藝術
◇氏の一評は文壇の一波、故に曰、青野の論季吉の筆、評界又大地震と

幽靈讀者
◇勞農藝術聯盟の鬼才山田清三郎氏の著也、プロ文學の典型暴露小說の開山、嗚呼氏の活躍と大新聞裏面

幸德名文集
◇文豪秋水幸德の名文は世既に定評あり後世評して教科書中の教科書國民文學の精髓萬民必携の大寶典と稱する誠に故ある也、別に宣傳用書半額版も發行す

秋水書簡集
◇本書は讀の某反動大家泣て曰『志士の決心同志の友情われ讀むに堪えたり孝子の純眞烈母の覺悟われ遂に泣くに堪えず』と、宣傳用書半額版ある所以か、

新消費組合論
◇斯界權威の博士教授學者實際家共同執筆組合長新居格責任特輯、既に久しく絕版、但普及宣傳半額版あり

地震憲兵火事巡査
◇蓋『久さん未遂で無期懲役、甘粕三たりで假出獄』也

世界社會運動史
◇石川三四郎曰『拙著定價六圓の西洋社會運動史千餘頁を簡潔に壓縮した良書の標本廉價の見本だ』

ユートピア集
◇幾度か企てられ幾度か中止せる難業を著者守田有秋氏の努力が今や之を完成した。1思想2古代及中世3近世4日本5比較の五篇廿章

岡陽之助著 日本社會運動史
◇興味中心文章本位の日本正史運動史論1概觀2發展3活躍4鬪爭5反動6分裂六篇六時代。波瀾重疊の事件と人物が躍動す

佐倉啄二 製絲女工虐待實史
◇著者『製絲工女は皆細井氏女工哀史の紡績工女を羨んでます』◇藤森氏『咄!、巧妙の搾取戰慄の暴虐女工哀史以上の虐待史』◇山崎伯爵『僕も蠶蛹を食べて製絲場で働いた。此事實は全く本當だ』

近藤榮藏著 露國勞働運動史
◇著者は勞働運動史の權威、曩に曉民共產黨事件で保釋中日本共產黨事件で入露亡命、專ら露國勞働運動史を研究滿五年の蘊蓄を傾けたる此の一卷九章三百頁、蓋し天下の渴を醫するものあらん乎

小川未明社會小說集 彼等甦らば
◇著者は明治大正昭和を通じて最も特異な地位を占むる作家文壇生活二十有餘年、何ぞ昔日の純眞熱情は聊かも衰へを見せぬ。本書收むる處の十有七篇、皆之れ氏最近の堪篇傑作。誰か追隨を許さん哉。

中西伊之助著長篇戲曲 武左衛門一揆
◇著者曰、武左衛門は佐倉宗吾磔茂左衛門等所謂義民の類でない。彼は近代農民運動の先驅者革命家であつた。本書全篇十有五景は彼れの進出よりギロチン送りの梗概。僕は自負する。之れは僕空前絕後の會心の作だ。

山内房吉新著 社會思想解說
◇無產階級的智識の武器を求める無產階級必備の大寶典！古今東西各段階に於ける各種社會思想の精粹なる大辭典！各種社會主義、社會主義者、社會主義術語等々の大字引！內容の精確正確、文章の流達平易！

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

昭和新春

謹んで昭和三年の春を迎へ奉る
今年は左の信條の下に一層努力致し
ますれば倍舊の御愛顧を願上ます
○他店より高い品を賣らぬこと
○他店より惡い品を賣らぬこと

大阪 大丸呉服店 心齋橋

東京上野 良品廉賣 銀座

松坂屋呉服店

大阪、日本橋 實用百貨 名古屋

東京丸の内

常磐生命保險株式會社

電話大手（長）五〇、八〇番 五二、〇二番 六一、一六番 六一、一七番
振替口座東京一九、一〇番

無產大衆の戰鬪的政治新聞

（週刊）日本勞農新聞

讀め!!眞の無產政治新聞を!

定價 一部五錢 一ケ年一圓五十錢

日本勞農新聞社
東京芝公園五號地
振替東京四六六四九番

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
昭和三年一月一日發行
同二年十二月廿八日印刷納本
第六年第一號
毎月一回一日發行
定價 一部十錢（税五厘）半年六十錢 一年一圓（税共）
廣告料 一行一圓 一頁三百圓
發行所 東京市麹町區内幸町一丁目五番地（振替東京六九八三）進め社本部
發行編輯兼印刷人 神近伸之助
大阪市東淀川區十三西之町一三一 大阪事務所